カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
心理学	2	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	D	C	E	C	D	E	E	E	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	D	D	D	C	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）　②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1	定期試験：筆記試験（記述式）																																																
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																																
3	小テスト：筆記試験（記述式）	10							a		a																																						
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																																
5	口頭試験																																																
6	レポート	90							a		a										a																												
7	成果発表																																																
8	質問紙法																																																
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																																
10	OSCE																																																
11	監査（オーディット）																																																
12	ポートフォリオ																																																
13	自己評価																																																
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																																
	合計（100%）	100																																															

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
医療倫理学	2	カリキュラム・マップ	C	C	C	C	D	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	D	E	D	D	D	E	E	E	D	E	E	C	D	D	D	C	E	E	E	E	D	D	C	E	E	E	C
		アセスメント・マップ																																																				
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																															
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）	90	a	a	a	b	c	a																																												
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																																			
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																																			
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																																			
		5 口頭試験																																																			
		6 レポート																																																			
		7 成果発表																																																			
		8 質問紙法																																																			
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																																			
		10 OSCE																																																			
		11 監査（オーディット）																																																			
		12 ポートフォリオ																																																			
		13 自己評価																																																			
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10																	c	c					b			a																							
		合計（100%）	100																																																		

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
法学	1	カリキュラム・マップ	C	B	C	B	A	B	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	A	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	B	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																															
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																														
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式） 20%		b																																													
		評価形式 2 定期試験：筆記試験（多肢選択式） 80%	a		c	b	a	b											a											b																			
		評価形式 3 小テスト：筆記試験（記述式）																																															
		評価形式 4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																															
		評価形式 5 口頭試験																																															
		評価形式 6 レポート																																															
		評価形式 7 成果発表																																															
		評価形式 8 質問紙法																																															
		評価形式 9 直接観察法（模型または実際の患者）																																															
		評価形式 10 OSCE																																															
		評価形式 11 監査（オーディット）																																															
		評価形式 12 ポートフォリオ																																															
		評価形式 13 自己評価																																															
		評価形式 14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																															
		合計（100%） 100																																															

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
哲学	1	カリキュラム・マップ	D	C	C	D	E	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	D	D	E	E	E	D	E	E	C	D	D	D	D	E	E	E	E	E	E	C	E	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）　②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式			I. 1	I. 2	I. 3	I. 4	I. 5	I. 6	II. 1	II. 2	II. 3	II. 4	II. 5	III. 1	III. 2	III. 3	III. 4	III. 5	III. 6	IV. 1	IV. 2	IV. 3	IV. 4	IV. 5	V. 1	V. 2	V. 3	V. 4	V. 5	VI. 1	VI. 2	VI. 3	VI. 4	VI. 5	VII. 1	VII. 2	VII. 3	VII. 4	VII. 5	VIII. 1	VIII. 2	VIII. 3	VIII. 4	VIII. 5
1	定期試験：筆記試験（記述式）																																												
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																												
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																												
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																												
5	口頭試験																																												
6	レポート	90	a		a	b		a												c																									
7	成果発表																																												
8	質問紙法																																												
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																												
10	OSCE																																												
11	監査（オーディット）																																												
12	ポートフォリオ																																												
13	自己評価																																												
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10																							b			a																
合計（100%）		100																																											

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
文学	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	E	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）

②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式																																																
1	定期試験：筆記試験（記述式）																																															
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																															
3	小テスト：筆記試験（記述式）	30																																							a							
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																															
5	口頭試験																																															
6	レポート																																															
7	成果発表																																															
8	質問紙法																																															
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																															
10	OSCE																																															
11	監査（オーディット）																																															
12	ポートフォリオ																																															
13	自己評価																																															
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	70（授業態度）																																							a							
合計（100%）		100																																														

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
言語と人間	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																									
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																										
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																										
		3 小テスト：筆記試験（記述式） 80																																										
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																										
		5 口頭試験																																										
		6 レポート																																										
		7 成果発表 10				a		a																a			a																	
		8 質問紙法																																										
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																										
		10 OSCE																																										
		11 監査（オーディット）																																										
		12 ポートフォリオ																																										
		13 自己評価																																										
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載 10																																										
		合計（100%） 100																																										

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
社会学	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	A	C	E	E	B	E	E	E	E	E	E	E	E	E	B	E	E	E	E	E	E	E	E	E	A	B	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																														
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																														
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																														
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
		5 口頭試験																																														
		6 レポート	100				a	c			b										b	a	b													a	b										
		7 成果発表																																														
		8 質問紙法																																														
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																														
		10 OSCE																																														
		11 監査（オーディット）																																														
		12 ポートフォリオ																																														
		13 自己評価																																														
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																														
		合計（100%）	100																																													

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 地域医療の中で国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
人類学	1	カリキュラム・マップ	E	E	C	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	E	E	D	E	E	E	E	E	E	E	E	D	D	D	D	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）　　②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式			I. 1	I. 2	I. 3	I. 4	I. 5	I. 6	II. 1	II. 2	II. 3	II. 4	II. 5	III. 1	III. 2	III. 3	III. 4	III. 5	III. 6	IV. 1	IV. 2	IV. 3	IV. 4	IV. 5	V. 1	V. 2	V. 3	V. 4	V. 5	VI. 1	VI. 2	VI. 3	VI. 4	VI. 5	VII. 1	VII. 2	VII. 3	VII. 4	VII. 5	VIII. 1	VIII. 2	VIII. 3	VIII. 4	VIII. 5
1	定期試験：筆記試験（記述式）																																													
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																													
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																													
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																													
5	口頭試験																																													
6	レポート	80			a																								a																	
7	成果発表																																													
8	質問紙法																																													
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																													
10	OSCE																																													
11	監査（オーディット）																																													
12	ポートフォリオ																																													
13	自己評価																																													
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	20 学習態度			a																												a													
合計（100%）		100																																												

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
数学	2	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）	90						b											a											b	b															
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																														
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	10						b											b											b	b															
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
		5 口頭試験																																														
		6 レポート																																														
		7 成果発表																																														
		8 質問紙法																																														
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																														
		10 OSCE																																														
		11 監査（オーディット）																																														
		12 ポートフォリオ																																														
		13 自己評価																																														
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																														
		合計（100%）	100																																													

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
応用統計学	2	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）	50						b											a											b	b																
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																														
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																														
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
		5 口頭試験																																														
		6 レポート	50						b											a											b	b																
		7 成果発表																																														
		8 質問紙法																																														
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																														
		10 OSCE																																														
		11 監査（オーディット）																																														
		12 ポートフォリオ																																														
		13 自己評価																																														
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																														
		合計（100%）	100																																													

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
基礎医学物理	2	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	C	C	C	E	D	E	E	E	E	E	E	E	C	E	E	E	E	E	E	E	E	D	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式） 100							a	a	a		b								a									b	a	a	a															
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																														
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																														
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
	5	口頭試験																																														
	6	レポート																																														
	7	成果発表																																														
	8	質問紙法																																														
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																														
	10	OSCE																																														
	11	監査（オーディット）																																														
	12	ポートフォリオ																																														
	13	自己評価																																														
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																														
		合計（100%） 100																																														

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 地域医療の中で国際化に関する課題を説明できる。国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
基礎生化学	2	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	C	C	C	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式） 80						a	a	a																																						
評価形式	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																														
評価形式	3	小テスト：筆記試験（記述式） 20						a	a	a																																						
評価形式	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
評価形式	5	口頭試験																																														
評価形式	6	レポート																																														
評価形式	7	成果発表																																														
評価形式	8	質問紙法																																														
評価形式	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																														
評価形式	10	OSCE																																														
評価形式	11	監査（オーディット）																																														
評価形式	12	ポートフォリオ																																														
評価形式	13	自己評価																																														
評価形式	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																														
		合計（100%） 100																																														

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
基礎生命科学	2	カリキュラム・マップ	D	E	E	E	E	E	C	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	C	D	D	D	D	E	E	E	E	E	D	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）

②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式			I. 1	I. 2	I. 3	I. 4	I. 5	I. 6	II. 1	II. 2	II. 3	II. 4	II. 5	III. 1	III. 2	III. 3	III. 4	III. 5	III. 6	IV. 1	IV. 2	IV. 3	IV. 4	IV. 5	V. 1	V. 2	V. 3	V. 4	V. 5	VI. 1	VI. 2	VI. 3	VI. 4	VI. 5	VII. 1	VII. 2	VII. 3	VII. 4	VII. 5	VIII. 1	VIII. 2	VIII. 3	VIII. 4	VIII. 5
1	定期試験：筆記試験（記述式）	50	c						a	b	b	b	b							a	c	c	c	c						c	c	c	b														
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	30							a	b	c	c	c							c																												
3	小テスト：筆記試験（記述式）	10	c						a	b	c	c	c							a	c	c	c	c						c	c	c	c														
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）	10							a	b	c	c	c							c																												
5	口頭試験																																															
6	レポート																																															
7	成果発表																																															
8	質問紙法																																															
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																															
10	OSCE																																															
11	監査（オーディット）																																															
12	ポートフォリオ																																															
13	自己評価																																															
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																															
合計（100%）		100																																														

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
放射線物理学	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	C	C	C	D	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	D	D	D	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）　　②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式			I. 1	I. 2	I. 3	I. 4	I. 5	I. 6	II. 1	II. 2	II. 3	II. 4	II. 5	III. 1	III. 2	III. 3	III. 4	III. 5	III. 6	IV. 1	IV. 2	IV. 3	IV. 4	IV. 5	V. 1	V. 2	V. 3	V. 4	V. 5	VI. 1	VI. 2	VI. 3	VI. 4	VI. 5	VII. 1	VII. 2	VII. 3	VII. 4	VII. 5	VIII. 1	VIII. 2	VIII. 3	VIII. 4	VIII. 5
1	定期試験：筆記試験（記述式）	100							a	a	a														a						a																
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																															
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																															
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																															
5	口頭試験																																															
6	レポート																																															
7	成果発表																																															
8	質問紙法																																															
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																															
10	OSCE																																															
11	監査（オーディット）																																															
12	ポートフォリオ																																															
13	自己評価																																															
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																															
合計（100%）		100																																														

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
生命科学	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	C	D	E	D	D	E	E	E	E	E	D	C	C	C	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）　②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式			医療倫理 1	法的規範 2	生及び死 3	人の命 4	医師の法的責任 5	人間の尊厳 6	医学の基礎 1	基礎医学 2	人体の正常構造 3	疾病の病因 4	医学の進歩 5	病歴を正しく聴取 1	病歴及び身体所見 2	臨床情報を整理 3	根拠に基づいた医療技術 4	医療安全 5	災害時の医療 6	医学・医療 1	問題の解決 2	最新の情報 3	問題解決のための構想 4	問題解決及び課題探求 5	礼儀及び礼節 1	信頼関係 2	医療チーム 3	指導力及び協調性 4	人々の価値観 5	先駆的な医学研究 1	医学研究 2	科学的思考 3	医学的知見 4	個々の症例 5	地域社会の健康 1	社会経済における地域医療 2	プライマリ・ケア 3	地域における医療専門職 4	地域医療の中で国際化 5	国際交流 1	健康増進及び疾病予防 2	医療・保健 3	疫学、疾病予防、福祉 4	国際社会 5
	1	定期試験：筆記試験（記述式）	50						a	c	c									a	b		b	c						c	c	c	c	b													
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	30						a	c	c									c																												
	3	小テスト：筆記試験（記述式）	5						b	c	c									a	b		b	c						c	c	c	c	b													
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）	15						b	c	c									c																												
	5	口頭試験	0																																													
	6	レポート	0																																													
	7	成果発表	0																																													
	8	質問紙法	0																																													
	9	直接観察法（模型または実際の患者）	0																																													
	10	OSCE	0																																													
	11	監査（オーディット）	0																																													
	12	ポートフォリオ	0																																													
	13	自己評価	0																																													
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	0																																													
		合計（100%）	100																																													

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S　初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A　診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B　医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C　医学生として基盤となる能力を修得している
		D　経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E　経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
自然科学実験	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	D	D	C	D	D	E	E	E	E	E	E	D	C	E	C	E	D	E	E	E	E	E	C	B	B	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																													
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																												
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																													
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																													
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																													
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																													
	5	口頭試験																																													
	6	レポート	100						b	b	a	b	b							b	a		a		b					a	a	a														
	7	成果発表																																													
	8	質問紙法																																													
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																													
	10	OSCE																																													
	11	監査（オーディット）																																													
	12	ポートフォリオ																																													
	13	自己評価																																													
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																													
		合計（100%）	100																																												

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
医学英語1a	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																											
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																										
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式） 60																																											
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																											
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																											
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
		5 口頭試験																																											
		6 レポート 20																		c		c	c																						
		7 成果発表 10				a		a																a			a																		
		8 質問紙法																																											
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																											
		10 OSCE																																											
		11 監査（オーディット）																																											
		12 ポートフォリオ																																											
		13 自己評価																																											
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載 10																																											
		合計（100%） 100																																											

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced　S	初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied　A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic　B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	基盤 Basic　C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
医学英語1b	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																											
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）	40																							c	c	c	c	c										c				
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																												
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	40																							c	c	c	c	c										c				
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																												
		5 口頭試験																																												
		6 レポート																																												
		7 成果発表																																												
		8 質問紙法																																												
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																												
		10 OSCE																																												
		11 監査（オーディット）																																												
		12 ポートフォリオ																																												
		13 自己評価																								c	c	c	c	c										c				
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	20																																											
		合計（100%）	100																																											

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
英会話	2	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	C	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）

②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式																																																
1	定期試験：筆記試験（記述式）																																															
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																															
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																															
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																															
5	口頭試験																																															
6	レポート																																															
7	成果発表	60																																								a	a			
8	質問紙法																																															
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																															
10	OSCE																																															
11	監査（オーディット）																																															
12	ポートフォリオ																																															
13	自己評価																																															
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	４０（授業態度）																																								a	a			
合計（100%）		100																																														

カリキュラム・マップ　区分			
凡例	高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C	医学生として基盤となる能力を修得している
		D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E	経験・修得する機会がない

科目名	単位数
ドイツ語	1

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

コンピテンス	No	コンピテンシー	カリキュラム・マップ	②評価形式1	②評価形式14
I. プロフェッショナリズム	1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	E		
	2	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	E		
	3	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	E		
	4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	E		
	5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	E		
	6	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	E		
II. 医学知識	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	E		
	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	E		
	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	E		
	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	E		
	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	E		
III. 医療の実践	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	E		
	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	E		
	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	E		
	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	E		
	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	E		
	6	災害時の医療について説明できる。	E		
IV. 問題対応能力	1	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	E		
	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	E		
	3	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	E		
	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	E		
	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	E		
V. コミュニケーション	1	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	E		
	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	E		
	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	E		
	4	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	E		
	5	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	E		
VI. 科学的探求	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	E		
	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	E		
	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	E		
	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	E		
	5	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	E		
VII. 地域医療	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	E		
	2	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	E		
	3	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	E		
	4	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	E		
	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	E		
VIII. 国際貢献	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	C	a	a
	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	E		
	3	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	E		
	4	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	E		
	5	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	E		

学修成果と評価方法

カリキュラム・マップ

アセスメント・マップ

②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式		① 評価形式ごとの評価割合（%）
1	定期試験：筆記試験（記述式）	60
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	
3	小テスト：筆記試験（記述式）	
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
5	口頭試験	
6	レポート	
7	成果発表	
8	質問紙法	
9	直接観察法（模型または実際の患者）	
10	OSCE	
11	監査（オーディット）	
12	ポートフォリオ	
13	自己評価	
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	40（宿題、授業態度）
	合計（100%）	100

カリキュラム・マップ　区分			
凡例	高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C	医学生として基盤となる能力を修得している
		D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名 / 単位数 / 学修成果と評価方法		I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力				
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
		医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。
フランス語　1　カリキュラム・マップ		E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
アセスメント・マップ																							
① 評価形式ごとの評価割合（%）		②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																					
評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）	80																						
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																							
3 小テスト：筆記試験（記述式）																							
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																							
5 口頭試験																							
6 レポート																							
7 成果発表																							
8 質問紙法																							
9 直接観察法（模型または実際の患者）																							
10 OSCE																							
11 監査（オーディット）																							
12 ポートフォリオ																							
13 自己評価																							
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	20（授業態度）																						
合計（100%）	100																						

科目名 / 単位数 / 学修成果と評価方法		V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
		礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
フランス語　1　カリキュラム・マップ		E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	E	E	E	E
アセスメント・マップ																					
① 評価形式ごとの評価割合（%）		②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																			
評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）	80																a				
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																					
3 小テスト：筆記試験（記述式）																					
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																					
5 口頭試験																					
6 レポート																					
7 成果発表																					
8 質問紙法																					
9 直接観察法（模型または実際の患者）																					
10 OSCE																					
11 監査（オーディット）																					
12 ポートフォリオ																					
13 自己評価																					
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	20（授業態度）																a				
合計（100%）	100																				

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
ロシア語	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	E	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）　②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1	定期試験：筆記試験（記述式）	70																																								a				
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																													
3	小テスト：筆記試験（記述式）	10																																								a				
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																													
5	口頭試験																																													
6	レポート																																													
7	成果発表																																													
8	質問紙法																																													
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																													
10	OSCE																																													
11	監査（オーディット）																																													
12	ポートフォリオ																																													
13	自己評価																																													
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	20（授業態度、出席）																																								a				
合計（100%）		100																																												

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
中国語	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																											
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式） 70																																							a				
評価形式	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																											
評価形式	3	小テスト：筆記試験（記述式） 10																																							a				
評価形式	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
評価形式	5	口頭試験																																											
評価形式	6	レポート																																											
評価形式	7	成果発表 10																																							a				
評価形式	8	質問紙法																																											
評価形式	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																											
評価形式	10	OSCE																																											
評価形式	11	監査（オーディット）																																											
評価形式	12	ポートフォリオ																																											
評価形式	13	自己評価																																											
評価形式	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載 10（授業態度、出席）																																							a				
		合計（100%） 100																																											

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
スポーツと健康	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	C	E	C	C	C	D	E	E	C	E	E	E	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	D	C	E	E	E
		アセスメント・マップ																																																
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																												
	評価形式 1	定期試験：筆記試験（記述式）																																															
	評価形式 2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																															
	評価形式 3	小テスト：筆記試験（記述式）																																															
	評価形式 4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																															
	評価形式 5	口頭試験																																															
	評価形式 6	レポート	90						b		a	a	a	a			b				b										b									a	a							
	評価形式 7	成果発表																																															
	評価形式 8	質問紙法																																															
	評価形式 9	直接観察法（模型または実際の患者）																																															
	評価形式 10	OSCE																																															
	評価形式 11	監査（オーディット）																																															
	評価形式 12	ポートフォリオ																																															
	評価形式 13	自己評価																																															
	評価形式 14	その他（講義における態度と理解度）	10										a	a																																			
		合計（100%）	100																																														

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
情報科学	2	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）　②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式		単位数	I. 1	I. 2	I. 3	I. 4	I. 5	I. 6	II. 1	II. 2	II. 3	II. 4	II. 5	III. 1	III. 2	III. 3	III. 4	III. 5	III. 6	IV. 1	IV. 2	IV. 3	IV. 4	IV. 5	V. 1	V. 2	V. 3	V. 4	V. 5	VI. 1	VI. 2	VI. 3	VI. 4	VI. 5	VII. 1	VII. 2	VII. 3	VII. 4	VII. 5	VIII. 1	VIII. 2	VIII. 3	VIII. 4	VIII. 5
1	定期試験：筆記試験（記述式）	100							a												c	c																								
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																												
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																												
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																												
5	口頭試験																																												
6	レポート																																												
7	成果発表																																												
8	質問紙法																																												
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																												
10	OSCE																																												
11	監査（オーディット）																																												
12	ポートフォリオ																																												
13	自己評価																																												
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																												
	合計（100%）	100																																											

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
行動科学実習	1	カリキュラム・マップ	D	E	D	E	E	D	D	D	C	C	D	E	E	E	D	E	E	C	B	D	C	D	E	E	E	E	E	D	D	C	C	E	E	E	E	E	E	E	D	E	E	E
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																											
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																												
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																												
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	50																			a											a	a												
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																												
		5 口頭試験																																												
		6 レポート	50								a	a									a	a		a									a	a												
		7 成果発表																																												
		8 質問紙法																																												
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																												
		10 OSCE																																												
		11 監査（オーディット）																																												
		12 ポートフォリオ																																												
		13 自己評価																																												
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																												
		合計（100%）	100																																											

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 地域医療の中で国際化に関する課題を説明できる。国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
医学表現論	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	D	E	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	D	D	E	E	C	C	D	D	D	B	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	D	E	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）　　②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式			医学表現論	I. 1	I. 2	I. 3	I. 4	I. 5	I. 6	II. 1	II. 2	II. 3	II. 4	II. 5	III. 1	III. 2	III. 3	III. 4	III. 5	III. 6	IV. 1	IV. 2	IV. 3	IV. 4	IV. 5	V. 1	V. 2	V. 3	V. 4	V. 5	VI. 1	VI. 2	VI. 3	VI. 4	VI. 5	VII. 1	VII. 2	VII. 3	VII. 4	VII. 5	VIII. 1	VIII. 2	VIII. 3	VIII. 4	VIII. 5
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																														
評価形式	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																														
評価形式	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																														
評価形式	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
評価形式	5	口頭試験																																														
評価形式	6	レポート	40						b																	a	b				a																	
評価形式	7	成果発表	30						b																	a	b				c																	
評価形式	8	質問紙法	30						b																	b	a				b																	
評価形式	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																														
評価形式	10	OSCE																																														
評価形式	11	監査（オーディット）																																														
評価形式	12	ポートフォリオ																																														
評価形式	13	自己評価																																														
評価形式	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																														
合計（100%）			100																																													

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
医学史	0.5	カリキュラム・マップ	C	C	E	C	D	C	C	C	D	D	C	E	E	E	E	D	E	D	D	E	E	D	C	C	E	E	C	D	D	D	D	E	E	D	E	E	E	D	E	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）　　②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1	定期試験：筆記試験（記述式）																																											
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																											
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																											
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
5	口頭試験																																											
6	レポート	50	a	a		a		a	a	a			a												a				a																
7	成果発表	40	a	a		a		a	a	a			a												a	a			a																
8	質問紙法																																											
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																											
10	OSCE																																											
11	監査（オーディット）																																											
12	ポートフォリオ																																											
13	自己評価																																											
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10 出席状況																							b	b			a																
合計（100%）		100																																											

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
医学入門セミナー	2	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	E	C	D	D	D	E	E	E	E	E	E	D	E	E	D	E	E	E	E	E	E	C	C	D	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																														
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																														
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																														
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
		5 口頭試験																																														
		6 レポート	100							a																				a	a																	
		7 成果発表																																														
		8 質問紙法																																														
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																														
		10 OSCE																																														
		11 監査（オーディット）																																														
		12 ポートフォリオ																																														
		13 自己評価																																														
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																														
		合計（100%）	100																																													

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
新入生チュートリアル	1	カリキュラム・マップ	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	E	D	D	D	E	E	C	C	C	C	C	E	E	E	E	D	C	C	C	D	D	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																											
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																										
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																											
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																											
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																											
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
		5 口頭試験																																											
		6 レポート 50																		c	b	b	c	a					c	c	c	a													
		7 成果発表																																											
		8 質問紙法																																											
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																											
		10 OSCE																																											
		11 監査（オーディット）																																											
		12 ポートフォリオ																																											
		13 自己評価																																											
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載 50																		c	b	b	c	a					c	c	c	a													
		合計（100%） 100																																											

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
新入生ｾﾐﾅｰ	0.5	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	D	E	E	D	C	D	E	D	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）　　②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式																																															
1	定期試験：筆記試験（記述式）																																															
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																															
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																															
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																															
5	口頭試験																																															
6	レポート	60																			b			c	a	c			c																			
7	成果発表																																															
8	質問紙法																																															
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																															
10	OSCE																																															
11	監査（オーディット）																																															
12	ポートフォリオ																																															
13	自己評価																																															
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	40																			b			c	b	c			c	c																		
合計（100%）		100	※その他：ワークシートの記載																																													

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S　初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A　診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B　医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C　医学生として基盤となる能力を修得している
		D　経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E　経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
E 医学概論・医療総論1	0.5	カリキュラム・マップ	C	C	D	C	C	C	D	D	D	E	C	E	E	E	E	D	E	C	C	C	E	C	C	D	C	D	C	E	E	E	E	E	C	D	E	E	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																														
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																														
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																														
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
	5	口頭試験																																														
	6	レポート	75	a	a	b	c	b	c														b	c															a	b								
	7	成果発表	15	a	b	b	c	b	c														b	c															b	c								
	8	質問紙法																																														
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																														
	10	OSCE																																														
	11	監査（オーディット）																																														
	12	ポートフォリオ																																														
	13	自己評価																																														
	14	その他評価形式が「その他」の場合、内容を記載	所見学時の出席点）																							a		a																				
		合計（100%）	100																																													

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
地域医療合同セミナー1	1.5	カリキュラム・マップ	C	D	D	D	D	C	E	E	E	D	D	D	D	D	E	D	D	D	D	D	D	E	D	B	C	B	D	C	D	E	E	E	E	D	D	D	D	D	D	D	E	E	D

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）　②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1	定期試験：筆記試験（記述式）	0																																															
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	0																																															
3	小テスト：筆記試験（記述式）	10	b																											b																			
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）	10	b																											b																			
5	口頭試験	0																																															
6	レポート	25	a					c																		b	b	c		b																			
7	成果発表	25	a					c																		b	b	a		b																			
8	質問紙法	0																																															
9	直接観察法（模型または実際の患者）	0																																															
10	OSCE	0																																															
11	監査（オーディット）	0																																															
12	ポートフォリオ	20	a					c																		b	c	b		c																			
13	自己評価	10	a					c																		b	c	b		c																			
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	0																																															
合計（100%）		100																																															

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
医療行動科学1	1	カリキュラム・マップ	D	E	D	D	E	C	C	C	C	B	D	E	E	E	E	E	E	D	E	D	E	D	E	E	E	E	D	D	D	D	D	E	B	E	D	E	C	B	B	B	B	B
		アセスメント・マップ																																															
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																														
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																															
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																															
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																															
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																															
		5 口頭試験																																															
		6 レポート	100						a	b	a	b	a																						a				a	a	a	a	a	a
		7 成果発表																																															
		8 質問紙法																																															
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																															
		10 OSCE																																															
		11 監査（オーディット）																																															
		12 ポートフォリオ																																															
		13 自己評価																																															
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																															
		合計（100%）	100																																														

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
死生学	1	カリキュラム・マップ	C	C	C	C	D	C	E	E	E	E	D	E	E	E	E	E	E	D	D	D	E	E	E	D	D	E	C	D	D	D	D	E	D	E	D	D	D	C	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																											
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）	100	a		a	b		a												c															c											
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																														
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																														
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
		5 口頭試験																																														
		6 レポート																																														
		7 成果発表																																														
		8 質問紙法																																														
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																														
		10 OSCE																																														
		11 監査（オーディット）																																														
		12 ポートフォリオ																																														
		13 自己評価																																														
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																														
		合計（100%）	100																																													

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 地域医療の中で国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
肉眼解剖学	2	カリキュラム・マップ	E	E	C	C	E	B	C	C	A	B	B	E	E	E	E	E	E	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E	D	D	D	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）	60								a																																					
		評価形式 2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	30								a																																					
		評価形式 3 小テスト：筆記試験（記述式）	10								a																																					
		評価形式 4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
		評価形式 5 口頭試験																																														
		評価形式 6 レポート																																														
		評価形式 7 成果発表																																														
		評価形式 8 質問紙法																																														
		評価形式 9 直接観察法（模型または実際の患者）																																														
		評価形式 10 OSCE																																														
		評価形式 11 監査（オーディット）																																														
		評価形式 12 ポートフォリオ																																														
		評価形式 13 自己評価																																														
		評価形式 14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																														
		合計（100%）	100																																													

カリキュラム・マップ　区分			
凡例	高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C	医学生として基盤となる能力を修得している
		D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法
細胞・組織学1	1	カリキュラム・マップ

コンピテンス		コンピテンシー	カリキュラム・マップ	②評価形式毎の比重：1 定期試験：筆記試験（記述式）
I. プロフェッショナリズム	1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	C	
	2	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	E	
	3	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	C	
	4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	E	
	5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	E	
	6	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	E	
II. 医学知識	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	B	a
	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	B	a
	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	B	a
	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	C	
	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	B	
III. 医療の実践	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	E	
	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	E	
	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	E	
	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	E	
	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	E	
	6	災害時の医療について説明できる。	E	
IV. 問題対応能力	1	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	B	
	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	B	
	3	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	B	
	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	B	
	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	B	
V. コミュニケーション	1	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	E	
	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	E	
	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	E	
	4	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	E	
	5	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	E	
VI. 科学的探求	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	C	
	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	B	
	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	B	
	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	B	
	5	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	E	
VII. 地域医療	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	E	
	2	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	E	
	3	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	E	
	4	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	E	
	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	E	
VIII. 国際貢献	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	E	
	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	E	
	3	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	E	
	4	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	E	
	5	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	E	

アセスメント・マップ

②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式		① 評価形式ごとの評価割合（%）
1	定期試験：筆記試験（記述式）	100
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	
3	小テスト：筆記試験（記述式）	
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
5	口頭試験	
6	レポ-ト	
7	成果発表	
8	質問紙法	
9	直接観察法（模型または実際の患者）	
10	OSCE	
11	監査（オーディット）	
12	ポートフォリオ	
13	自己評価	
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	
合計（100%）		100

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ　区分			
凡例	高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C	医学生として基盤となる能力を修得している
		D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E	経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
国際医療	1	カリキュラム・マップ / アセスメント・マップ

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）

評価形式		評価割合（%）
1	定期試験：筆記試験（記述式）	
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	
3	小テスト：筆記試験（記述式）	
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
5	口頭試験	
6	レポート	100
7	成果発表	
8	質問紙法	
9	直接観察法（模型または実際の患者）	
10	OSCE	
11	監査（オーディット）	
12	ポートフォリオ	
13	自己評価	
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	
合計（100%）		100

②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

区分	番号	コンピテンシー	カリキュラム・マップ	6 レポート
Ⅰ. プロフェッショナリズム	1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	E	
	2	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	E	
	3	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	E	
	4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	E	
	5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	E	
	6	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	E	
Ⅱ. 医学知識	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	E	
	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	E	
	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	E	
	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	E	
	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	E	
Ⅲ. 医療の実践	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	E	
	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	E	
	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	E	
	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	E	
	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	E	
	6	災害時の医療について説明できる。	E	
Ⅳ. 問題対応能力	1	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	E	
	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	E	
	3	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	E	
	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	E	
	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	E	
Ⅴ. コミュニケーション	1	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	E	
	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	E	
	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	E	
	4	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	E	
	5	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	E	
Ⅵ. 科学的探求	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	E	
	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	E	
	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	E	
	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	E	
	5	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	E	
Ⅶ. 地域医療	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	E	
	2	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	E	
	3	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	E	
	4	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	E	
	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	C	c
Ⅷ. 国際貢献	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	C	a
	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	C	b
	3	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	C	a
	4	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	C	c
	5	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	C	a

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S　初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A　診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B　医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C　医学生として基盤となる能力を修得している
		D　経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E　経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
医学英語2	0.5	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	B	B	B	B	B	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	B	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																											
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																										
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）	40																						c	c	c	c	c											c				
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																											
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	40																						c	c	c	c	c											c				
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
		5 口頭試験																																											
		6 レポート																																											
		7 成果発表																																											
		8 質問紙法																																											
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																											
		10 OSCE																																											
		11 監査（オーディット）																																											
		12 ポートフォリオ																																											
		13 自己評価																																											
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	20																						c	c	c	c	c											c				
		合計（100%）	100																																										

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
医学概論・医療総論2	0.5	カリキュラム・マップ	C	C	C	C	C	C	D	D	D	D	D	E	E	E	E	C	E	D	D	D	E	D	B	C	C	D	C	D	E	E	E	E	D	D	E	C	C	E	E	E	E	E										
		アセスメント・マップ																																																					
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																																			
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																																					
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																																					
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																																					
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																																					
	5	口頭試験																																																					
	6	レポート	40	a	b	c	c	c	c										c						a	c	c		a									c	c														
	7	成果発表	10	c	c	c	c	c	c																a				a																										
	8	質問紙法																																																					
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																							a	c	c		a																										
	10	OSCE																																																					
	11	監査（オーディット）																																																					
	12	ポートフォリオ																																																					
	13	自己評価																																																					
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	50																						a	c	c		a																										
		合計（100%）	100																																																				

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
地域医療合同セミナー2	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	B	C	C	C	E	E	E	E	E	E	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
	評価形式 1	定期試験：筆記試験（記述式）																																														
	評価形式 2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																														
	評価形式 3	小テスト：筆記試験（記述式）																																														
	評価形式 4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
	評価形式 5	口頭試験																																														
	評価形式 6	レポート																																														
	評価形式 7	成果発表	10																							a										a											
	評価形式 8	質問紙法																																														
	評価形式 9	直接観察法（模型または実際の患者）	30																							a	c	c								a											
	評価形式 10	OSCE																																														
	評価形式 11	監査（オーディット）																																														
	評価形式 12	ポートフォリオ																																														
	評価形式 13	自己評価	10																							a	c	c								a											
	評価形式 14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	50																							c	c	c								a											
		合計（100%）	100																																													

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
医療行動科学2	0.5	カリキュラム・マップ	D	E	D	D	E	B	C	C	C	B	C	E	E	E	E	E	E	D	E	D	E	D	E	C	E	E	B	D	D	D	D	E	B	D	C	E	B	B	B	B	B	B
		アセスメント・マップ																																															
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																															
評価形式	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																															
評価形式	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																															
評価形式	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																															
評価形式	5	口頭試験																																															
評価形式	6	レポート	100						a	b	a	a	a										b				b			b						a				a	a	a	a	a	a	
評価形式	7	成果発表																																															
評価形式	8	質問紙法																																															
評価形式	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																															
評価形式	10	OSCE																																															
評価形式	11	監査（オーディット）																																															
評価形式	12	ポートフォリオ																																															
評価形式	13	自己評価																																															
評価形式	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																															
		合計（100%）	100																																														

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 地域医療の中で国際化に関する課題を説明できる。国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
肉眼解剖学実習	3	カリキュラム・マップ	E	E	B	C	E	A	B	C	A	B	A	E	E	E	E	E	E	D	D	D	D	D	A	A	A	E	B	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																														
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																														
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																														
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
	5	口頭試験	90									a																																				
	6	レポート																																														
	7	成果発表																																														
	8	質問紙法																																														
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																														
	10	OSCE																																														
	11	監査（オーディット）																																														
	12	ポートフォリオ																																														
	13	自己評価																																														
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10 実習態度					a					a												a	a	a																					
		合計（100%）	100																																													

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
細胞・組織学2	2.5	カリキュラム・マップ	C	E	C	E	E	E	B	B	B	C	B	E	E	E	E	E	E	B	B	B	B	B	E	E	E	E	E	C	B	B	B	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）　　②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式			I. 1	I. 2	I. 3	I. 4	I. 5	I. 6	II. 1	II. 2	II. 3	II. 4	II. 5	III. 1	III. 2	III. 3	III. 4	III. 5	III. 6	IV. 1	IV. 2	IV. 3	IV. 4	IV. 5	V. 1	V. 2	V. 3	V. 4	V. 5	VI. 1	VI. 2	VI. 3	VI. 4	VI. 5	VII. 1	VII. 2	VII. 3	VII. 4	VII. 5	VIII. 1	VIII. 2	VIII. 3	VIII. 4	VIII. 5
1	定期試験：筆記試験（記述式）	100							a	a	a																																					
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																															
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																															
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																															
5	口頭試験																																															
6	レポート																																															
7	成果発表																																															
8	質問紙法																																															
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																															
10	OSCE																																															
11	監査（オーディット）																																															
12	ポートフォリオ																																															
13	自己評価																																															
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																															
合計（100%）		100																																														

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
神経解剖学	1	カリキュラム・マップ	C	E	C	E	E	E	B	B	B	C	B	E	E	E	E	E	E	B	B	B	B	B	E	E	E	E	E	C	B	B	B	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）　　②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式			医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
	1	定期試験：筆記試験（記述式）	80						a	a	a																					b																
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																														
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																														
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）	20						a	a	a	a																																				
	5	口頭試験																																														
	6	レポート																																														
	7	成果発表																																														
	8	質問紙法																																														
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																														
	10	OSCE																																														
	11	監査（オーディット）																																														
	12	ポートフォリオ																																														
	13	自己評価																																														
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																														
合計（100%）			100																																													

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 地域医療の中で国際化に関する課題を説明できる。国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
組織学・脳実習	2.5	カリキュラム・マップ	c	E	c	E	E	E	B	B	B	c	B	E	E	E	E	E	E	B	B	B	B	B	C	E	E	E	E	C	B	B	B	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）　　②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式			医療倫理	法的規範	生及び死	人の命	医師の法的責任	人間の尊厳	医学の基礎	基礎医学	人体の正常構造	疾病の病因	医学の進歩	病歴を正しく聴取	病歴及び身体所見	臨床情報を整理	根拠に基づいた医療技術	医療安全	災害時の医療	医学・医療	問題の解決	最新の情報	問題解決のための構想	問題解決及び課題探求	礼儀及び礼節	信頼関係	医療チーム	指導力及び協調性	人々の価値観	先駆的な医学研究	医学研究	科学的思考	医学的知見	個々の症例	地域社会の健康	社会経済における地域医療	プライマリ・ケア	地域における医療専門職	地域医療の中で国際化	健康増進及び疾病予防	医療・保健	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等	国際社会
1	定期試験：筆記試験（記述式）	80							a	a	a																																			
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																													
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																													
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																													
5	口頭試験																																													
6	レポート	20							a	a	a														a						a		a													
7	成果発表																																													
8	質問紙法																																													
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																													
10	OSCE																																													
11	監査（オーディット）																																													
12	ポートフォリオ																																													
13	自己評価																																													
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																													
合計（100%）		100																																												

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
細胞・器官生理学	5	カリキュラム・マップ	D	E	D	D	E	E	C	B	B	D	E	E	D	E	E	E	E	B	B	B	B	D	E	E	D	E	E	B	B	B	B	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）　　②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式			医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
	1	定期試験：筆記試験（記述式）	50						a	a	a									a	a	a	a							c	c	c	c															
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	50						a	a	a																																					
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																														
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
	5	口頭試験																																														
	6	レポート																																														
	7	成果発表																																														
	8	質問紙法																																														
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																														
	10	OSCE																																														
	11	監査（オーディット）																																														
	12	ポートフォリオ																																														
	13	自己評価																																														
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																														
		合計（100%）	100																																													

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
神経生理学	3.5	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	C	C	C	D	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																											
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																										
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）	90						a	a	a																																		
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																							a						a														
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	10						a	a	a																																		
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
		5 口頭試験																																											
		6 レポート																																											
		7 成果発表																																											
		8 質問紙法																																											
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																											
		10 OSCE																																											
		11 監査（オーディット）																																											
		12 ポートフォリオ																																											
		13 自己評価																																											
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																											
		合計（100%）	100																																										

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
生化学	2.5	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	C	E	E	E	E	E	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式） 40							a	a	a	a	b							a	a	a	a	b						b	b	a	a														
評価形式	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式） 40							a	a	a	a	b							a	a	a	a	b						b	b	a	a														
評価形式	3	小テスト：筆記試験（記述式） 5							a	a	a	a	b							a	a	a	a	b						b	b	a	a														
評価形式	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式） 5							a	a	a	a	b							a	a	a	a	b						b	b	a	a														
評価形式	5	口頭試験																																														
評価形式	6	レポート																																														
評価形式	7	成果発表																																														
評価形式	8	質問紙法																																														
評価形式	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																														
評価形式	10	OSCE																																														
評価形式	11	監査（オーディット）																																														
評価形式	12	ポートフォリオ																																														
評価形式	13	自己評価																																														
評価形式	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載 10 学習態度											a											a							a	a																
		合計（100%） 100																																														

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
分子生物学	2	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	D	E	E	E	E	E	E	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																											
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																										
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式） 50							a	a	a	a																		b	a	a	a												
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式） 50							a	a	a	a																		b	a	a	a												
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																											
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
	5	口頭試験																																											
	6	レポート																																											
	7	成果発表																																											
	8	質問紙法																																											
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																											
	10	OSCE																																											
	11	監査（オーディット）																																											
	12	ポートフォリオ																																											
	13	自己評価																																											
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																											
		合計（100%） 100																																											

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S　初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A　診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B　医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C　医学生として基盤となる能力を修得している
		D　経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E　経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
薬理学1	2	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	E	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																											
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																										
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）	25							a	a	a																																	
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	70							a	a	a																																	
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	5							a	a	a																																	
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
		5 口頭試験																																											
		6 レポート																																											
		7 成果発表																																											
		8 質問紙法																																											
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																											
		10 OSCE																																											
		11 監査（オーディット）																																											
		12 ポートフォリオ																																											
		13 自己評価																																											
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																											
		合計（100%）	100																																										

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
生理・薬理学実習	0.5	カリキュラム・マップ	D	E	D	E	E	E	B	B	D	B	D	E	E	E	E	E	E	E	B	B	B	E	D	E	D	E	D	E	B	B	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
評価形式 1		定期試験：筆記試験（記述式）																																														
評価形式 2		定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																														
評価形式 3		小テスト：筆記試験（記述式）																																														
評価形式 4		小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
評価形式 5		口頭試験																																														
評価形式 6		レポート	90						a	a		a									a	a	a								a	a																
評価形式 7		成果発表																																														
評価形式 8		質問紙法																																														
評価形式 9		直接観察法（模型または実際の患者）																																														
評価形式 10		OSCE																																														
評価形式 11		監査（オーディット）																																														
評価形式 12		ポートフォリオ																																														
評価形式 13		自己評価																																														
評価形式 14		態度、取り組み	10						b	b		b									b	b	b								b	b																
		合計（100%）	100																																													

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
生化学実習	0.5	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	C	E	E	E	E	E	D	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）　②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1	定期試験：筆記試験（記述式）																																																
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																																
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																																
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																																
5	口頭試験																																																
6	レポート	80							a	a	a	a	b							b	a	a	a	b						a	a	a																	
7	成果発表																																																
8	質問紙法																																																
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																																
10	OSCE																																																
11	監査（オーディット）																																																
12	ポートフォリオ																																																
13	自己評価																																																
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	20 実験態度																												a	a																	
合計（100%）		100																																															

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ　区分			
凡例	高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C	医学生として基盤となる能力を修得している
		D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E	経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法		
病理学1-1	3	カリキュラム・マップ		
		① 評価形式ごとの評価割合（%）		
		評価形式	1 定期試験：筆記試験（記述式）	10
			2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	70
			3 小テスト：筆記試験（記述式）	
			4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
			5 口頭試験	
			6 レポート	10
			7 成果発表	
			8 質問紙法	
			9 直接観察法（模型または実際の患者）	
			10 OSCE	
			11 監査（オーディット）	
			12 ポートフォリオ	
			13 自己評価	
			14 その他 出席回数、授業態度、身なり等を評価	10
		合計（100%）		100

②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

Ⅰ. プロフェッショナリズム

	1	2	3	4	5	6
内容	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。
カリキュラム・マップ	D	D	D	D	D	D
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						

Ⅱ. 医学知識

	1	2	3	4	5
内容	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。
カリキュラム・マップ	B	B	B	B	B
1	b	b	b	b	
2	a	a	a	a	
3					
4					
5					
6	b	b	b	b]	
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					a

Ⅲ. 医療の実践

	1	2	3	4	5	6
内容	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。
カリキュラム・マップ	E	E	B	E	E	E
1			a			
2			a			
3						
4						
5						
6			a			
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						

Ⅳ. 問題対応能力

	1	2	3	4	5
内容	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。
カリキュラム・マップ	B	B	B	B	B
1	a	a	a	a	
2	b	b	b	b	
3					
4					
5					
6	a	a	a	a	
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					a

Ⅴ. コミュニケーション

	1	2	3	4	5
内容	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。
カリキュラム・マップ	B	E	E	E	E
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14	a				

Ⅵ. 科学的探求

	1	2	3	4	5
内容	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。
カリキュラム・マップ	B	B	B	B	B
1	b	b	b	b	b
2					
3					
4					
5					
6	b	b	b	b	b
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					

Ⅶ. 地域医療

	1	2	3	4	5
内容	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。
カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					

Ⅷ. 国際貢献

	1	2	3	4	5
内容	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
病理学2	2.5	カリキュラム・マップ	D	D	D	D	D	C	B	B	B	B	B	E	E	D	E	E	E	C	C	B	B	C	E	E	E	E	E	B	B	B	B	C	E	E	E	E	E	E	C	E	D	D
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																											
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式） 20							a	a	a	a	a							b	b	b	b	b						c	a	a	b	c												
評価形式	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式） 60							a	a	a	a	a							c	b	c	b	c						c	a	a	b	c												
評価形式	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																														
評価形式	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
評価形式	5	口頭試験																																														
評価形式	6	レポート 20							a	a	a	a	a							c	b	b	b	c						c	c	c	c	c												
評価形式	7	成果発表																																														
評価形式	8	質問紙法																																														
評価形式	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																														
評価形式	10	OSCE																																														
評価形式	11	監査（オーディット）																																														
評価形式	12	ポートフォリオ																																														
評価形式	13	自己評価																																														
評価形式	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																														
		合計（100%） 100																																														

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
免疫学1	2単位	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	D	D	D	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）	60						a	a	a	a																					a															
評価形式	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	40						a	a	a	a																					a															
評価形式	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																														
評価形式	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
評価形式	5	口頭試験																																														
評価形式	6	レポート																																														
評価形式	7	成果発表																																														
評価形式	8	質問紙法																																														
評価形式	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																														
評価形式	10	OSCE																																														
評価形式	11	監査（オーディット）																																														
評価形式	12	ポートフォリオ																																														
評価形式	13	自己評価																																														
評価形式	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																														
		合計（100%）	100																																													

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S　初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A　診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B　医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C　医学生として基盤となる能力を修得している
		D　経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E　経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
微生物学	5	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	C	C	D	D	D	E	D	E	E	C	E	E	D	E	E	E	D	E	E	E	E	E	D	C	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																											
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																										
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）	41						a	a	b	b	c		b			a			b										c	b	b												
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	41						a	b	b	b			b			b			c										c	c													
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																											
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	5						a	c					c						c				c						c														
		5 口頭試験																																											
		6 レポート	8						a	a	b	b	b		b			a			a				c						c	b	b												
		7 成果発表																																											
		8 質問紙法																																											
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																											
		10 OSCE																																											
		11 監査（オーディット）																																											
		12 ポートフォリオ																																											
		13 自己評価																																											
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	5																						b						c	c													
		合計（100%）	100																																										

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
基礎腫瘍学	1	カリキュラム・マップ	D	D	D	D	D	D	B	C	B	B	B	E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	C	E	E	E	E	E	B	B	B	B	C	E	E	E	E	E	E	C	E	D	D
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																											
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式） 30							a	a	a	a	a							b	b	b	b	b						c	b	b	b	c												
評価形式	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式） 70							a	a	a	a	a							b	b	b	b	b						c	b	b	b	b												
評価形式	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																														
評価形式	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
評価形式	5	口頭試験																																														
評価形式	6	レポート																																														
評価形式	7	成果発表																																														
評価形式	8	質問紙法																																														
評価形式	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																														
評価形式	10	OSCE																																														
評価形式	11	監査（オーディット）																																														
評価形式	12	ポートフォリオ																																														
評価形式	13	自己評価																																														
評価形式	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																														
		合計（100%） 100																																														

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
微生物学実習	0.5	カリキュラム・マップ	E	E	D	D	E	E	C	C	C	C	D	D	C	D	E	C	E	D	D	C	E	D	E	E	D	E	E	E	D	D	D	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																											
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																										
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																											
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																											
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																											
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
		5 口頭試験																																											
		6 レポート	60							a	a	b	c	b	c	b	c		b		c	c	c		b			c				c	a	b	c											
		7 成果発表																																											
		8 質問紙法																																											
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																											
		10 OSCE																																											
		11 監査（オーディット）																																											
		12 ポートフォリオ																																											
		13 自己評価																																											
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	40			c	c						b			c		b														b	b												
		合計（100%）	100																																										

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 地域医療の中で国際化に関する課題を説明できる。国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
医学英語3	0.5	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	A	A	A	A	A

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）

②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式			医学英語3	I. 1	I. 2	I. 3	I. 4	I. 5	I. 6	II. 1	II. 2	II. 3	II. 4	II. 5	III. 1	III. 2	III. 3	III. 4	III. 5	III. 6	IV. 1	IV. 2	IV. 3	IV. 4	IV. 5	V. 1	V. 2	V. 3	V. 4	V. 5	VI. 1	VI. 2	VI. 3	VI. 4	VI. 5	VII. 1	VII. 2	VII. 3	VII. 4	VII. 5	VIII. 1	VIII. 2	VIII. 3	VIII. 4	VIII. 5
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																														
評価形式	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																														
評価形式	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																														
評価形式	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
評価形式	5	口頭試験																																														
評価形式	6	レポート	40																																							a					
評価形式	7	成果発表	40																																						a						
評価形式	8	質問紙法																																														
評価形式	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																														
評価形式	10	OSCE																																														
評価形式	11	監査（オーディット）																																														
評価形式	12	ポートフォリオ																																														
評価形式	13	自己評価																																														
評価形式	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	20 学習態度																																								a					
合計（100%）			100																																													

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
医学概論・医療総論3	0.5	カリキュラム・マップ	C	C	C	C	C	B	D	D	D	D	C	D	D	E	E	D	E	D	C	C	D	C	B	C	B	C	C	E	E	E	E	E	C	D	D	B	C	E	D	E	D	E

アセスメント・マップ

評価形式			① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
1	定期試験：筆記試験（記述式）																																															
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																															
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																															
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																															
5	口頭試験																																															
6	レポート	30	c	c	c	c	c						c								a	b		a					b																			
7	成果発表	20																							b		b																					
8	質問紙法																																															
9	直接観察法（模型または実際の患者）	50						a														a			a	c	b	c	b																			
10	OSCE																																															
11	監査（オーディット）																																															
12	ポートフォリオ																																															
13	自己評価																																															
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																															
合計（100%）		100																																														

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
地域医療合同セミナー3	1	カリキュラム・マップ	c	c	c	c	c	b	d	d	d	d	c	d	d	e	e	d	e	d	c	c	d	c	b	c	b	c	c	e	e	e	e	d	c	d	d	b	c	e	d	e	d	e

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）　　②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式			I. 1	I. 2	I. 3	I. 4	I. 5	I. 6	II. 1	II. 2	II. 3	II. 4	II. 5	III. 1	III. 2	III. 3	III. 4	III. 5	III. 6	IV. 1	IV. 2	IV. 3	IV. 4	IV. 5	V. 1	V. 2	V. 3	V. 4	V. 5	VI. 1	VI. 2	VI. 3	VI. 4	VI. 5	VII. 1	VII. 2	VII. 3	VII. 4	VII. 5	VIII. 1	VIII. 2	VIII. 3	VIII. 4	VIII. 5
1	定期試験：筆記試験（記述式）																																												
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																												
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																												
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																												
5	口頭試験																																												
6	レポート	50	c	c	c	c	c	c				c							c	c		c												b			a	c						
7	成果発表	10																					a																						
8	質問紙法																																												
9	直接観察法（模型または実際の患者）	20						b															a		a	b																			
10	OSCE																																												
11	監査（オーディット）																																												
12	ポートフォリオ																																												
13	自己評価	10						c															c		c	c																			
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																												
合計（100%）		100																																											

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
医療行動科学3	0.5	カリキュラム・マップ	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	E	E	E	E	E	E	B	B	B	B	B	C	C	C	B	B	B	B	B	B	C	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
		アセスメント・マップ																																																				
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																																			
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																																				
評価形式	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																																				
評価形式	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																																				
評価形式	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																																				
評価形式	5	口頭試験																																																				
評価形式	6	レポート	100	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a							a	a	a	a	a	b	b	b	a	a	a	a	a	a	b	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a
評価形式	7	成果発表																																																				
評価形式	8	質問紙法																																																				
評価形式	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																																				
評価形式	10	OSCE																																																				
評価形式	11	監査（オーディット）																																																				
評価形式	12	ポートフォリオ																																																				
評価形式	13	自己評価																																																				
評価形式	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																																				
		合計（100%）	100																																																				

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
薬理学2	2	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	E	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																											
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																										
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）	25							a	a	a																																	
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	70							a	a	a																																	
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	5							a	a	a																																	
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
		5 口頭試験																																											
		6 レポート																																											
		7 成果発表																																											
		8 質問紙法																																											
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																											
		10 OSCE																																											
		11 監査（オーディット）																																											
		12 ポートフォリオ																																											
		13 自己評価																																											
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																											
		合計（100%）	100																																										

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
神経生理実習	0.5	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	B	B	C	C	C	D	D	D	E	D	E	C	B	D	C	D	C	D	E	E	D	D	C	C	B	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																														
評価形式	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																														
評価形式	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																														
評価形式	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
評価形式	5	口頭試験																																														
評価形式	6	レポート	92						a	a											a	b	a							b	b	a															
評価形式	7	成果発表																																														
評価形式	8	質問紙法																																														
評価形式	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																														
評価形式	10	OSCE																																														
評価形式	11	監査（オーディット）																																														
評価形式	12	ポートフォリオ																																														
評価形式	13	自己評価																																														
評価形式	14	その他（実習参加姿勢）	8																		a		a		a				a		a	a																
		合計（100%）	100																																													

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
病理学1-2	2	カリキュラム・マップ	D	D	D	D	D	D	B	B	B	B	B	E	E	B	E	E	E	B	B	B	B	B	B	E	E	E	E	B	B	B	B	B	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

① 評価形式ごとの評価割合（%）　②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1	定期試験：筆記試験（記述式）	10							b	b	b	b				a				a	a	a	a							b	b	b	b	b														
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	70							a	a	a	a				a				b	b	b	b																										
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																																
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																																
5	口頭試験																																																
6	レポート	10							b	b	b	b]				a				a	a	a	a							b	b	b	b	b														
7	成果発表																																																
8	質問紙法																																																
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																																
10	OSCE																																																
11	監査（オーディット）																																																
12	ポートフォリオ																																																
13	自己評価																																																
14	その他 出席回数、授業態度、身なり等を評価	10											a												a	a																							
	合計（100%）	100																																															

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
免疫学２	1単位	カリキュラム・マップ

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識				
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。
カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	D

	III. 医療の実践						IV. 問題対応能力				
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。
カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

	V. コミュニケーション					VI. 科学的探求				
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。
カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	D	D	D	C	E

	VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）

②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1	定期試験：筆記試験（記述式）	60							a	a	a	a																							a											
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	40							a	a	a	a																							a											
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																													
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																													
5	口頭試験																																													
6	レポート																																													
7	成果発表																																													
8	質問紙法																																													
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																													
10	OSCE																																													
11	監査（オーディット）																																													
12	ポートフォリオ																																													
13	自己評価																																													
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																													
合計（100%）		100																																												

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
遺伝医学	1	カリキュラム・マップ	B	C	B	B	C	B	C	C	B	B	C	C	D	D	D	D	E	B	C	C	C	C	B	B	B	C	B	B	C	C	C	C	C	D	D	D	D	D	E	D	E	D	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）　　②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式			I. 1	I. 2	I. 3	I. 4	I. 5	I. 6	II. 1	II. 2	II. 3	II. 4	II. 5	III. 1	III. 2	III. 3	III. 4	III. 5	III. 6	IV. 1	IV. 2	IV. 3	IV. 4	IV. 5	V. 1	V. 2	V. 3	V. 4	V. 5	VI. 1	VI. 2	VI. 3	VI. 4	VI. 5	VII. 1	VII. 2	VII. 3	VII. 4	VII. 5	VIII. 1	VIII. 2	VIII. 3	VIII. 4	VIII. 5
1	定期試験：筆記試験（記述式）	60	a	a			a			a		b	b							b	a	b	b	c				c	c	c	c	c	c	c											
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																												
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																												
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																												
5	口頭試験																																												
6	レポート	20		b			c		c	c	c	c		c						c	a	b	b	c		b		c	b																
7	成果発表	20	c		a	a		a						c						c	b	c	c		a	b	c	c	a																
8	質問紙法																																												
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																												
10	OSCE																																												
11	監査（オーディット）																																												
12	ポートフォリオ																																												
13	自己評価																																												
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																												
合計（100%）		100																																											

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
病理学実習	2	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	D	B	B	B	B	B	E	E	B	B	E	E	B	B	B	B	B	B	E	D	E	E	B	B	B	B	B	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		B																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																														
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																														
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	60						a	a	a	a				a	b			b	b	b	b																									
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
		5 口頭試験																																														
		6 レポート	20						b	b	b	b]				a	b			a	a	a	a							b	b	b	b	b													
		7 成果発表																																														
		8 質問紙法																																														
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																														
		10 OSCE																																														
		11 監査（オーディット）																																														
		12 ポートフォリオ																																														
		13 自己評価																																														
		14 その他 実習態度、コミュニケーション、身なり等を観察評価	20										a												a	a																						
		合計（100%）	100																																													

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
研究室（基礎）配属	4.5	カリキュラム・マップ	D	D	D	D	D	D	C	C	B	B	B	E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	C	D	E	E	E	E	C	C	C	C	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																														
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																														
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																														
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
		5 口頭試験																																														
		6 レポート	80						b	b	a	a	a							a	a	a	a	a																								
		7 成果発表	20						b	b	a	a	a							a	a	a	a	a																								
		8 質問紙法																																														
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																														
		10 OSCE																																														
		11 監査（オーディット）																																														
		12 ポートフォリオ																																														
		13 自己評価																																														
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																														
		合計（100%）	100																																													

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
			医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
内分泌・代謝病学	1	カリキュラム・マップ	D	D	D	D	D	D	B	B	B	B	B	C	C	C	C	D	D	C	C	C	C	C	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																											
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																										
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																											
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式） 100							a	a	a	a	a	b	b	b				c	c	c	c	c																					
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																											
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
		5 口頭試験																																											
		6 レポート																																											
		7 成果発表																																											
		8 質問紙法																																											
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																											
		10 OSCE																																											
		11 監査（オーディット）																																											
		12 ポートフォリオ																																											
		13 自己評価																																											
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																											
		合計（100%） 100																																											

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 地域医療の中で国際化に関する課題を説明できる。国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
血液学	0.5	カリキュラム・マップ	C	C	B	B	C	C	B	B	B	B	B	C	C	C	C	D	D	E	C	C	C	C	B	C	C	D	E	C	C	C	D	D	E	E	E	C	C	E	D	D	E	C

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）　　②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式			血液学	I. 1	I. 2	I. 3	I. 4	I. 5	I. 6	II. 1	II. 2	II. 3	II. 4	II. 5	III. 1	III. 2	III. 3	III. 4	III. 5	III. 6	IV. 1	IV. 2	IV. 3	IV. 4	IV. 5	V. 1	V. 2	V. 3	V. 4	V. 5	VI. 1	VI. 2	VI. 3	VI. 4	VI. 5	VII. 1	VII. 2	VII. 3	VII. 4	VII. 5	VIII. 1	VIII. 2	VIII. 3	VIII. 4	VIII. 5
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																														
評価形式	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	100							a	a	a																																				
評価形式	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																														
評価形式	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
評価形式	5	口頭試験																																														
評価形式	6	レポート																																														
評価形式	7	成果発表																																														
評価形式	8	質問紙法																																														
評価形式	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																														
評価形式	10	OSCE																																														
評価形式	11	監査（オーディット）																																														
評価形式	12	ポートフォリオ																																														
評価形式	13	自己評価																																														
評価形式	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																														
		合計（100%）	100																																													

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
消化器内科学	2	カリキュラム・マップ	B	B	B	B	B	B	C	C	C	B	D	E	B	B	E	E	E	E	E	E	E	C	B	B	B	B	B	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																																	
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																																
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																																	
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式） 100							a	a	a	a																																							
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																																	
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																																	
		5 口頭試験																																																	
		6 レポート																																																	
		7 成果発表																																																	
		8 質問紙法																																																	
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																																	
		10 OSCE																																																	
		11 監査（オーディット）																																																	
		12 ポートフォリオ																																																	
		13 自己評価																																																	
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																																	
		合計（100%） 100																																																	

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 地域医療の中で国際化に関する課題を説明できる。国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
免疫・アレルギー疾患	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	D	C	C	C	D	E	E	E	D	D	D	E	E	E	E	E	E	E	D	D	E	E	E	E	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																														
評価形式	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	100						a	a	a	a		a	a	a																					a										
評価形式	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																														
評価形式	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
評価形式	5	口頭試験																																														
評価形式	6	レポート																																														
評価形式	7	成果発表																																														
評価形式	8	質問紙法																																														
評価形式	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																														
評価形式	10	OSCE																																														
評価形式	11	監査（オーディット）																																														
評価形式	12	ポートフォリオ																																														
評価形式	13	自己評価																																														
評価形式	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																														
		合計（100%）	100																																													

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced　S	初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied　A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic　B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	基盤 Basic　C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
呼吸器病学	1.5	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	D	C	C	C	C	D	E	E	E	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）　　②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1	定期試験：筆記試験（記述式）																																																
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	100							a	a	a	a		a	a	a																																	
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																																
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																																
5	口頭試験																																																
6	レポート																																																
7	成果発表																																																
8	質問紙法																																																
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																																
10	OSCE																																																
11	監査（オーディット）																																																
12	ポートフォリオ																																																
13	自己評価																																																
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																																
	合計（100%）	100																																															

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S　初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A　診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B　医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C　医学生として基盤となる能力を修得している
		D　経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E　経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
			医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
腎臓病学	0.5	カリキュラム・マップ	D	D	D	D	D	D	B	B	B	B	B	C	C	C	C	D	D	C	C	C	C	C	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																											
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																										
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																											
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式） 100							a	a	a	a	a	b	b	b	b			c	c	c	c	c																					
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																											
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
		5 口頭試験																																											
		6 レポート																																											
		7 成果発表																																											
		8 質問紙法																																											
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																											
		10 OSCE																																											
		11 監査（オーディット）																																											
		12 ポートフォリオ																																											
		13 自己評価																																											
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																											
		合計（100%） 100																																											

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced　S	初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied　A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic　B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	基盤 Basic　C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
神経内科学	1	カリキュラム・マップ	C	D	C	C	D	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	E	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	E	D	C	D	D	E	D	D	D	D
		アセスメント・マップ																																															
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																												
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																															
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式） 95							a	a	a	a	a												a				a			c	c	c														
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																															
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																															
		5 口頭試験																																															
		6 レポート																																															
		7 成果発表																																															
		8 質問紙法																																															
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																															
		10 OSCE																																															
		11 監査（オーディット）																																															
		12 ポートフォリオ																																															
		13 自己評価																																															
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載 5																							a				a																				
		合計（100%） 100																																															

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
循環器内科学	2	カリキュラム・マップ	D	D	D	D	D	D	B	B	B	B	B	C	C	C	C	D	D	C	C	C	C	C	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																																			
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																														
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																																			
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	100							a	a	a	a	a	b	b	b	b				c	c	c	c	c																										
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																																			
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																																			
		5 口頭試験																																																			
		6 レポート																																																			
		7 成果発表																																																			
		8 質問紙法																																																			
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																																			
		10 OSCE																																																			
		11 監査（オーディット）																																																			
		12 ポートフォリオ																																																			
		13 自己評価																																																			
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																																			
		合計（100%）	100																																																		

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ　区分

凡例			
高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
臨床腫瘍学	0.5	カリキュラム・マップ

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）

評価形式		評価割合（%）
1	定期試験：筆記試験（記述式）	100
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	
3	小テスト：筆記試験（記述式）	
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
5	口頭試験	
6	レポート	
7	成果発表	
8	質問紙法	
9	直接観察法（模型または実際の患者）	
10	OSCE	
11	監査（オーディット）	
12	ポートフォリオ	
13	自己評価	
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	
	合計（100%）	100

②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

コンピテンス	No.	コンピテンシー	カリキュラム・マップ	評価形式1
I. プロフェッショナリズム	1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	B	a
	2	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	B	a
	3	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	B	a
	4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	B	a
	5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	E	
	6	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	B	a
II. 医学知識	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	C	a
	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	C	a
	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	C	a
	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	C	a
	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	D	
III. 医療の実践	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	E	
	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	E	
	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	B	a
	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	C	
	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	E	
	6	災害時の医療について説明できる。	E	
IV. 問題対応能力	1	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	D	
	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	D	
	3	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	D	
	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	D	
	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	E	
V. コミュニケーション	1	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	E	
	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	D	
	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	E	
	4	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	E	
	5	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	C	
VI. 科学的探求	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	E	
	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	E	
	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	E	
	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	E	
	5	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	E	
VII. 地域医療	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	E	
	2	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	E	
	3	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	E	
	4	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	E	
	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	E	
VIII. 国際貢献	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	E	
	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	E	
	3	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	E	
	4	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	E	
	5	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	E	

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
放射線診断・核医学	0.5	カリキュラム・マップ	D	E	E	E	E	E	C	C	C	C	C	E	D	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																											
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																										
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																											
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	80							a	a	a	a																																
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																											
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）	10							a	a	a	a																																
	5	口頭試験																																											
	6	レポート																																											
	7	成果発表																																											
	8	質問紙法																																											
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																											
	10	OSCE																																											
	11	監査（オーディット）																																											
	12	ポートフォリオ																																											
	13	自己評価																																											
	14	その他（授業態度、発表内容等）	10																							a																			
		合計（100%）	100																																										

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced　S	初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied　A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic　B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	基盤 Basic　C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
感染症学	2	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	D	C	C	C	C	D	E	E	E	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																														
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	100							a	a	a	a		a	a	a																															
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																														
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
		5 口頭試験																																														
		6 レポート																																														
		7 成果発表																																														
		8 質問紙法																																														
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																														
		10 OSCE																																														
		11 監査（オーディット）																																														
		12 ポートフォリオ																																														
		13 自己評価																																														
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																														
		合計（100%）	100																																													

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S　初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A　診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B　医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C　医学生として基盤となる能力を修得している
		D　経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E　経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
皮膚科学	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	E	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																																		
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																															
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																																		
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	90							a:	a:	a:	a:																																							
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																																		
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																																		
		5 口頭試験																																																		
		6 レポート	10							a:	a:	a:	a:																																							
		7 成果発表																																																		
		8 質問紙法																																																		
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																																		
		10 OSCE																																																		
		11 監査（オーディット）																																																		
		12 ポートフォリオ																																																		
		13 自己評価																																																		
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																																		
		合計（100%）	100																																																	

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
小児科学1	1.5	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E	C	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）　②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式																																															
1	定期試験：筆記試験（記述式）																																															
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	100	c	c	c	c	c	c	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	c	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																															
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																															
5	口頭試験																																															
6	レポート																																															
7	成果発表																																															
8	質問紙法																																															
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																															
10	OSCE																																															
11	監査（オーディット）																																															
12	ポートフォリオ																																															
13	自己評価																																															
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																															
合計（100%）		100																																														

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
精神医学	2	カリキュラム・マップ	C	B	C	C	B	C	B	B	B	B	B	C	B	B	C	C	C	C	C	C	C	B	B	C	C	C	B	B	B	B	B	C	B	B	C	C	C	B	C	B	C	B

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）　②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式			精神医学	I. 1	I. 2	I. 3	I. 4	I. 5	I. 6	II. 1	II. 2	II. 3	II. 4	II. 5	III. 1	III. 2	III. 3	III. 4	III. 5	III. 6	IV. 1	IV. 2	IV. 3	IV. 4	IV. 5	V. 1	V. 2	V. 3	V. 4	V. 5	VI. 1	VI. 2	VI. 3	VI. 4	VI. 5	VII. 1	VII. 2	VII. 3	VII. 4	VII. 5	VIII. 1	VIII. 2	VIII. 3	VIII. 4	VIII. 5
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																															
評価形式	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	100		a			a		a	a	a	a	a		a	a								a	a				a	a	a	a	a		a	a				a		a		a
評価形式	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																															
評価形式	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																															
評価形式	5	口頭試験																																															
評価形式	6	レポート																																															
評価形式	7	成果発表																																															
評価形式	8	質問紙法																																															
評価形式	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																															
評価形式	10	OSCE																																															
評価形式	11	監査（オーディット）																																															
評価形式	12	ポートフォリオ																																															
評価形式	13	自己評価																																															
評価形式	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																															
合計（100%）			100																																															

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
外科学総論	1	カリキュラム・マップ	c	D	c	c	D	c	c	c	c	c	c	D	D	c	c	c	D	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D
		アセスメント・マップ																																																			
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																																	
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）	100	c		c	c		c	a	a	a	a	a	b		c	b	b														c																		
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																																			
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																																			
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																																			
		5 口頭試験																																																			
		6 レポート																																																			
		7 成果発表																																																			
		8 質問紙法																																																			
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																																			
		10 OSCE																																																			
		11 監査（オーディット）																																																			
		12 ポートフォリオ																																																			
		13 自己評価																																																			
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																																			
		合計（100%）	100																																																		

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
外科腫瘍学	0.5	カリキュラム・マップ	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	d	d	d	d	d	d	e	e	e	e	e	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）　②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）	100	c	c	c	c	c	c	a	a	a	a	a	b	c	c	b	b																																		
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																																				
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																																				
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																																				
	5	口頭試験																																																				
	6	レポート																																																				
	7	成果発表																																																				
	8	質問紙法																																																				
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																																				
	10	OSCE																																																				
	11	監査（オーディット）																																																				
	12	ポートフォリオ																																																				
	13	自己評価																																																				
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																																				
		合計（100%）	100																																																			

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
消化器外科	1.5	カリキュラム・マップ	c	D	c	c	D	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	D	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E	D	D	D	c	c	D	D	c	c	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）　②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1	定期試験：筆記試験（記述式）	100	c		c	c		c	a	a	a	a	a	b	b	b	b	b															c	c			c	c											
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																																
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																																
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																																
5	口頭試験																																																
6	レポート																																																
7	成果発表																																																
8	質問紙法																																																
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																																
10	OSCE																																																
11	監査（オーディット）																																																
12	ポートフォリオ																																																
13	自己評価																																																
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																																
	合計（100%）	100																																															

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced　S	初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied　A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic　B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	基盤 Basic　C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
泌尿器科学	1.5	カリキュラム・マップ	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
		アセスメント・マップ																																																				
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																															
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																																			
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式） 90							a	a	a	a	a	a	a	a																																					
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																																			
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																																			
		5 口頭試験																																																			
		6 レポート																																																			
		7 成果発表																																																			
		8 質問紙法																																																			
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																																			
		10 OSCE																																																			
		11 監査（オーディット）																																																			
		12 ポートフォリオ																																																			
		13 自己評価																																																			
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載 10																																																			
		合計（100%） 100																																																			

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
脳神経外科学	1	カリキュラム・マップ	D	D	D	D	D	D	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	D	D	E	E	D	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）　　②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1	定期試験：筆記試験（記述式）	2											a																																				
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	88							a	a	a	a																																					
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																																
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																																
5	口頭試験																																																
6	レポート																																																
7	成果発表	5									b	b																																					
8	質問紙法																																																
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																																
10	OSCE	5												b	b	b	b																																
11	監査（オーディット）																																																
12	ポートフォリオ																																																
13	自己評価																																																
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																																
	合計（100%）	100																																															

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
循環器外科学	1.5	カリキュラム・マップ	E	E	D	D	E	D	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	E	C	C	C	C	C	C	C	D	D	C	C	C	C	C	C	C	C	D	C	C	E	E	E	E	D
		アセスメント・マップ																																																				
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																																	
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）	0																																																			
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	100								a	a																																										
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	0																																																			
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	0																																																			
		5 口頭試験	0																																																			
		6 レポート	0																																																			
		7 成果発表	0																																																			
		8 質問紙法	0																																																			
		9 直接観察法（模型または実際の患者）	0																																																			
		10 OSCE	0																																																			
		11 監査（オーディット）	0																																																			
		12 ポートフォリオ	0																																																			
		13 自己評価	0																																																			
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	0																																																			
		合計（100%）	100																																																			

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
			医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
衛生学	1	カリキュラム・マップ	C	B	C	B	A	E	B	B	D	C	B	E	D	D	C	B	E	C	B	B	B	C	E	E	E	D	E	B	B	B	B	D	B	C	E	E	C	B	A	B	A	B
		アセスメント・マップ																																											
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																										
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）	90		b			b					c	c		c	c	c	a		c	b	b	b	c						b	b	b	b		b	c			c	c	a	b	a	b
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	0																																										
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	0																																										
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	0																																										
		5 口頭試験	0																																										
		6 レポート	0																																										
		7 成果発表	0																																										
		8 質問紙法	0																																										
		9 直接観察法（模型または実際の患者）	0																																										
		10 OSCE	0																																										
		11 監査（オーディット）	0																																										
		12 ポートフォリオ	0																																										
		13 自己評価	0																																										
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10	c		c	c																																						
		合計（100%）	100																																										

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
公衆衛生学1	2	カリキュラム・マップ	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	E	E	E	E	C	C	B	B	B	B	B	C	C	C	C	B	B	B	B	B	B	B	B	C	B	C	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）　　②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1	定期試験：筆記試験（記述式）																																																
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	100	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a					a	a	a	a	b	b	a	b	b	b	b	a	a	a	a	b	b	b	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																																
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																																
5	口頭試験																																																
6	レポート																																																
7	成果発表																																																
8	質問紙法																																																
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																																
10	OSCE																																																
11	監査（オーディット）																																																
12	ポートフォリオ																																																
13	自己評価																																																
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																																
	合計（100%）	100																																															

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
社会医学実習	1	カリキュラム・マップ	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	E	E	E	E	C	C	B	B	B	B	B	C	C	C	C	B	B	B	B	B	B	B	B	C	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
		アセスメント・マップ																																																				
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																																	
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																																				
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																																				
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																																				
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																																				
		5 口頭試験																																																				
		6 レポート	50	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a					b	b	a	a	a	a	a	b	b	b	b	a	a	a	a	a	a	a	a	b	a	a	a	a	a	a	a	b	a	a	a	a	a	a	a
		7 成果発表	50	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a					b	b	a	a	a	a	a	b	b	b	b	a	a	a	a	a	a	a	a	b	a	a	a	a	a	a	a	b	a	a	a	a	a	a	a
		8 質問紙法																																																				
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																																				
		10 OSCE																																																				
		11 監査（オーディット）																																																				
		12 ポートフォリオ																																																				
		13 自己評価																																																				
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																																				
		合計（100%）	100																																																			

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
医学英語４	0.5	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	B	B	B	B	E	E	E	E	E	E	E	A	A	B	B	A	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	A	E	E	E	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）　②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式			医学英語４ 0.5
1	定期試験：筆記試験（記述式）		
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）		
3	小テスト：筆記試験（記述式）		
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）		
5	口頭試験		
6	レポート		
7	成果発表		
8	質問紙法		
9	直接観察法（模型または実際の患者）		
10	OSCE		
11	監査（オーディット）		
12	ポートフォリオ		
13	自己評価		
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	ール・プレイング）	a a a a
合計（100%）		100	

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
医学概論・医療総論4	1	カリキュラム・マップ	B	B	B	B	B	B	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	B	B	B	B	B	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D
		アセスメント・マップ																																																			
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																															
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）	70	a	a	a	a	a	a						a	a	a	a	a	a																															
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																																		
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	30	a	a	a	a	a	a						a	a	a	a	a	a																															
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																																		
		5 口頭試験																																																		
		6 レポート																																																		
		7 成果発表																																																		
		8 質問紙法																																																		
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																																		
		10 OSCE																																																		
		11 監査（オーディット）																																																		
		12 ポートフォリオ																																																		
		13 自己評価																																																		
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																																		
		合計（100%）	100																																																	

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 地域医療の中で国際化に関する課題を説明できる。国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
PBL チュートリアル	2	カリキュラム・マップ	D	D	E	E	E	E	C	C	B	B	C	E	C	B	E	E	E	C	B	B	B	D	C	E	E	E	C	D	D	C	C	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）　②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式			I. 1	I. 2	I. 3	I. 4	I. 5	I. 6	II. 1	II. 2	II. 3	II. 4	II. 5	III. 1	III. 2	III. 3	III. 4	III. 5	III. 6	IV. 1	IV. 2	IV. 3	IV. 4	IV. 5	V. 1	V. 2	V. 3	V. 4	V. 5	VI. 1	VI. 2	VI. 3	VI. 4	VI. 5	VII. 1	VII. 2	VII. 3	VII. 4	VII. 5	VIII. 1	VIII. 2	VIII. 3	VIII. 4	VIII. 5
1	定期試験：筆記試験（記述式）																																													
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																													
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																													
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																													
5	口頭試験																																													
6	レポート	40							a	a	a	a	b		c	a				b	a	a	a		c				c			b	b												
7	成果発表	50							a	a	a	a	b		c	a				b	a	a	a		c				c			b	b												
8	質問紙法																																													
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																													
10	OSCE																																													
11	監査（オーディット）																																													
12	ポートフォリオ																																													
13	自己評価																																													
14	その他 出席状況など	10																							a																					
合計（100%）		100																																												

カリキュラム・マップ　区分			
凡例	高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C	医学生として基盤となる能力を修得している
		D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法		
応用医療情報科学	1.5	カリキュラム・マップ		
		アセスメント・マップ		
		① 評価形式ごとの評価割合（%）		
		評価形式	1 定期試験：筆記試験（記述式）	50
			2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	
			3 小テスト：筆記試験（記述式）	
			4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
			5 口頭試験	
			6 レポ-ト	50
			7 成果発表	
			8 質問紙法	
			9 直接観察法（模型または実際の患者）	
			10 OSCE	
			11 監査（オーディット）	
			12 ポートフォリオ	
			13 自己評価	
			14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	
		合計（100%）		100

②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

	I. プロフェッショナリズム					
	1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。
カリキュラム・マップ	B	B	B	B	B	B
1 定期試験：筆記試験（記述式）	a	a	a	a	a	a
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）						
3 小テスト：筆記試験（記述式）						
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）						
5 口頭試験						
6 レポ-ト	a	a	a	a	a	a
7 成果発表						
8 質問紙法						
9 直接観察法						
10 OSCE						
11 監査（オーディット）						
12 ポートフォリオ						
13 自己評価						
14 その他						

	II. 医学知識				
	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。
カリキュラム・マップ	B	B	B	B	B
1 定期試験：筆記試験（記述式）	a	a	a	a	a
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）					
3 小テスト：筆記試験（記述式）					
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）					
5 口頭試験					
6 レポ-ト	a	a	a	a	a
7 成果発表					
8 質問紙法					
9 直接観察法					
10 OSCE					
11 監査（オーディット）					
12 ポートフォリオ					
13 自己評価					
14 その他					

	III. 医療の実践					
	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。
カリキュラム・マップ	E	E	D	E	E	E
1 定期試験：筆記試験（記述式）			b			
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）						
3 小テスト：筆記試験（記述式）						
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）						
5 口頭試験						
6 レポ-ト			b			
7 成果発表						
8 質問紙法						
9 直接観察法						
10 OSCE						
11 監査（オーディット）						
12 ポートフォリオ						
13 自己評価						
14 その他						

	IV. 問題対応能力				
	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。
カリキュラム・マップ	B	B	B	B	B
1 定期試験：筆記試験（記述式）	a	a	a	a	a
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）					
3 小テスト：筆記試験（記述式）					
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）					
5 口頭試験					
6 レポ-ト	a	a	a	a	a
7 成果発表					
8 質問紙法					
9 直接観察法					
10 OSCE					
11 監査（オーディット）					
12 ポートフォリオ					
13 自己評価					
14 その他					

	V. コミュニケーション				
	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。
カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E
1 定期試験：筆記試験（記述式）					
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）					
3 小テスト：筆記試験（記述式）					
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）					
5 口頭試験					
6 レポ-ト					
7 成果発表					
8 質問紙法					
9 直接観察法					
10 OSCE					
11 監査（オーディット）					
12 ポートフォリオ					
13 自己評価					
14 その他					

	VI. 科学的探求				
	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。
カリキュラム・マップ	B	B	B	B	C
1 定期試験：筆記試験（記述式）	a	a	a	a	b
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）					
3 小テスト：筆記試験（記述式）					
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）					
5 口頭試験					
6 レポ-ト	a	a	a	a	b
7 成果発表					
8 質問紙法					
9 直接観察法					
10 OSCE					
11 監査（オーディット）					
12 ポートフォリオ					
13 自己評価					
14 その他					

	VII. 地域医療				
	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。
カリキュラム・マップ	B	C	C	E	C
1 定期試験：筆記試験（記述式）	a	a	a		b
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）					
3 小テスト：筆記試験（記述式）					
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）					
5 口頭試験					
6 レポ-ト	a	a	a		b
7 成果発表					
8 質問紙法					
9 直接観察法					
10 OSCE					
11 監査（オーディット）					
12 ポートフォリオ					
13 自己評価					
14 その他					

	VIII. 国際貢献				
	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
カリキュラム・マップ	C	C	C	C	C
1 定期試験：筆記試験（記述式）	b	b	b	b	b
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）					
3 小テスト：筆記試験（記述式）					
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）					
5 口頭試験					
6 レポ-ト	b	b	b	b	b
7 成果発表					
8 質問紙法					
9 直接観察法					
10 OSCE					
11 監査（オーディット）					
12 ポートフォリオ					
13 自己評価					
14 その他					

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
地域医療合同セミナー4	1	カリキュラム・マップ	C	D	D	D	D	C	E	E	E	C	D	D	D	D	E	D	D	D	D	D	D	E	D	B	C	B	D	C	D	E	E	E	E	D	D	D	D	D	D	D	E	E	D

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）　②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																														
評価形式	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																														
評価形式	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																														
評価形式	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
評価形式	5	口頭試験																																														
評価形式	6	レポート	a					b				c														b	b	c		b																		
評価形式	7	成果発表	a					b				c														b	b	a		b																		
評価形式	8	質問紙法																																														
評価形式	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																														
評価形式	10	OSCE																																														
評価形式	11	監査（オーディット）																																														
評価形式	12	ポートフォリオ																																														
評価形式	13	自己評価	a					b				c														b	c	b		b																		
評価形式	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																														
合計（100%）		100																																														

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
IYR・放射線治療	0.5	カリキュラム・マップ	E	E	E	D	E	D	B	B	D	B	D	D	D	B	B	D	E	D	D	B	D	D	E	D	D	D	D	D	D	D	D	B	D	E	E	D	E	E	E	D	E	E
		アセスメント・マップ																																																		
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																															
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）	10						a	a		a				a	a					a												a															
評価形式	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	90						a	a		a				a	a					a												a															
評価形式	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																																	
評価形式	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																																	
評価形式	5	口頭試験																																																	
評価形式	6	レポート																																																	
評価形式	7	成果発表																																																	
評価形式	8	質問紙法																																																	
評価形式	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																																	
評価形式	10	OSCE																																																	
評価形式	11	監査（オーディット）																																																	
評価形式	12	ポートフォリオ																																																	
評価形式	13	自己評価																																																	
評価形式	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																																	
		合計（100%）	100																																																	

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 地域医療の中で国際化に関する課題を説明できる。国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
医療薬学	0.5	カリキュラム・マップ	c	c	D	D	E	c	c	c	c	c	D	D	D	D	D	c	D	D	D	D	D	D	D	E	c	D	D	c	D	D	D	D	D	D	E	c	D	E	D	D	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）　②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式			医療倫理 1	法的規範 2	生及び死 3	人の命 4	医師の法的責任 5	人間の尊厳 6	医学の基礎 1	基礎医学 2	人体の正常構造 3	疾病の病因 4	医学の進歩 5	病歴を正しく聴取 1	病歴及び身体所見 2	臨床情報を整理 3	根拠に基づいた医療技術 4	医療安全 5	災害時の医療 6	医学・医療 1	問題の解決 2	最新の情報 3	問題解決のための構想 4	問題解決及び課題探求 5	礼儀及び礼節 1	信頼関係 2	医療チーム 3	指導力及び協調性 4	人々の価値観 5	先駆的な医学研究 1	医学研究 2	科学的思考 3	医学的知見 4	個々の症例 5	地域社会の健康 1	社会経済における地域医療 2	プライマリ・ケア 3	地域における医療専門職 4	地域医療の中で国際化 5	国際交流 1	健康増進及び疾病予防 2	医療・保健 3	疫学、疾病予防、福祉 4	国際社会 5
1	定期試験：筆記試験（記述式）	20							c	c	b	a					b																																					
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	80							c	c	b	a					b																																					
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																																					
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																																					
5	口頭試験																																																					
6	レポート																																																					
7	成果発表																																																					
8	質問紙法																																																					
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																																					
10	OSCE																																																					
11	監査（オーディット）																																																					
12	ポートフォリオ																																																					
13	自己評価																																																					
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																																					
合計（100%）		100																																																				

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 地域医療の中で国際化に関する課題を説明できる。国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
統合医療学	0.5	カリキュラム・マップ	c	D	c	c	D	D	c	c	c	c	D	c	c	c	c	D	D	D	D	D	D	D	D	c	c	D	D	c	c	c	D	D	D	c	D	E	c	D	E	D

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）

②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式			I. 1	I. 2	I. 3	I. 4	I. 5	I. 6	II. 1	II. 2	II. 3	II. 4	II. 5	III. 1	III. 2	III. 3	III. 4	III. 5	III. 6	IV. 1	IV. 2	IV. 3	IV. 4	IV. 5	V. 1	V. 2	V. 3	V. 4	V. 5	VI. 1	VI. 2	VI. 3	VI. 4	VI. 5	VII. 1	VII. 2	VII. 3	VII. 4	VII. 5	VIII. 1	VIII. 2	VIII. 3	VIII. 4	VIII. 5
1	定期試験：筆記試験（記述式）	20							c	c	b	a					b																													
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	80							c	c	b	a					b																													
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																													
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																													
5	口頭試験																																													
6	レポート																																													
7	成果発表																																													
8	質問紙法																																													
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																													
10	OSCE																																													
11	監査（オーディット）																																													
12	ポートフォリオ																																													
13	自己評価																																													
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																													
合計（100%）		100																																												

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
総合診療入門	1	カリキュラム・マップ	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	E	E	D	E	E	E	B	B	B	B	B	B	B	C	C	C	C	C	C	C	C	B	B	B	B	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
		アセスメント・マップ																																															
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																														
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）	100																																a	a	a	a	a									
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																															
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																															
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																															
		5 口頭試験																																															
		6 レポート																																															
		7 成果発表																																															
		8 質問紙法																																															
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																															
		10 OSCE																																															
		11 監査（オーディット）																																															
		12 ポートフォリオ																																															
		13 自己評価																																															
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																															
		合計（100%）	100																																														

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 地域医療の中で国際化に関する課題を説明できる。	2 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	3 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	4 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	5 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
臨床検査医学	1.5	カリキュラム・マップ	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	E	E	C	C	A	C	B	B	B	B	B	B	E	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）

②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式			I. 1	I. 2	I. 3	I. 4	I. 5	I. 6	II. 1	II. 2	II. 3	II. 4	II. 5	III. 1	III. 2	III. 3	III. 4	III. 5	III. 6	IV. 1	IV. 2	IV. 3	IV. 4	IV. 5	V. 1	V. 2	V. 3	V. 4	V. 5	VI. 1	VI. 2	VI. 3	VI. 4	VI. 5	VII. 1	VII. 2	VII. 3	VII. 4	VII. 5	VIII. 1	VIII. 2	VIII. 3	VIII. 4	VIII. 5	5
1	定期試験：筆記試験（記述式）																																															
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	100							a			a							a																													
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																															
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																															
5	口頭試験																																															
6	レポート																																															
7	成果発表																																															
8	質問紙法																																															
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																															
10	OSCE																																															
11	監査（オーディット）																																															
12	ポートフォリオ																																															
13	自己評価																																															
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																															
合計（100%）		100																																														

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
小児科学2	1.5	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E	C	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）

②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																														
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	100	c	c	c	c	c	c	a	a	a	a	a	c	c	c	c	c	c	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c	b	b	b	b	b	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																														
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
	5	口頭試験																																														
	6	レポート																																														
	7	成果発表																																														
	8	質問紙法																																														
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																														
	10	OSCE																																														
	11	監査（オーディット）																																														
	12	ポートフォリオ																																														
	13	自己評価																																														
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																														
合計（100%）			100																																													

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced　S	初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied　A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic　B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	基盤 Basic　C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
リハビリテーション医学	1.5	カリキュラム・マップ	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	B	B	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	D	D	D	C	D
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																											
	評価形式 1	定期試験：筆記試験（記述式）																																														
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	100							a	a				a																				a	a	a	a								
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																														
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
	5	口頭試験																																														
	6	レポート																																														
	7	成果発表																																														
	8	質問紙法																																														
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																														
	10	OSCE																																														
	11	監査（オーディット）																																														
	12	ポートフォリオ																																														
	13	自己評価																																														
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																														
		合計（100%）	100																																													

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
臨床疫学	0.5	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	E	B	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	B	B	B	B	E	E	E	E	E	B	B	B	B	B	E	E	E	E	E	E	E	E	E	B	E
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																											
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）	100							a										a	a	a	a						a	a	a	a	a										a	
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																												
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																												
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																												
		5 口頭試験																																												
		6 レポート																																												
		7 成果発表																																												
		8 質問紙法																																												
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																												
		10 OSCE																																												
		11 監査（オーディット）																																												
		12 ポートフォリオ																																												
		13 自己評価																																												
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																												
		合計（100%）	100																																											

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
緩和医療学	0.5	カリキュラム・マップ	B	B	B	B	C	B	B	B	B	B	B	C	B	B	C	C	C	C	C	C	C	C	B	B	C	C	C	B	B	B	B	B	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	B

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）　　②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1	定期試験：筆記試験（記述式）																																																
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	100	a	a	a	a		a	a	a	a	a	a		a	a								a	a				a	a	a	a	a															a
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																																
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																																
5	口頭試験																																																
6	レポート																																																
7	成果発表																																																
8	質問紙法																																																
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																																
10	OSCE																																																
11	監査（オーディット）																																																
12	ポートフォリオ																																																
13	自己評価																																																
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																																
合計（100%）		100																																															

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
症候診断学	2	カリキュラム・マップ	C	D	C	C	D	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	E	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	E	D	C	D	D	E	D	D	D	D
		アセスメント・マップ																																											
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																										
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																											
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式） 95							a	a	a	a	a												a				a			c	c	c											
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																											
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
		5 口頭試験																																											
		6 レポート																																											
		7 成果発表																																											
		8 質問紙法																																											
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																											
		10 OSCE																																											
		11 監査（オーディット）																																											
		12 ポートフォリオ																																											
		13 自己評価																																											
授業態度など		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載 5																							a				a																
		合計（100%） 100																																											

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 地域医療の中で国際化に関する課題を説明できる。	VIII. 2 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 3 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 4 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 5 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
麻酔科学	1	カリキュラム・マップ	c	c	c	c	c	c	B	B	B	B	B	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）

②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式			麻酔科学	I. 1	I. 2	I. 3	I. 4	I. 5	I. 6	II. 1	II. 2	II. 3	II. 4	II. 5	III. 1	III. 2	III. 3	III. 4	III. 5	III. 6	IV. 1	IV. 2	IV. 3	IV. 4	IV. 5	V. 1	V. 2	V. 3	V. 4	V. 5	VI. 1	VI. 2	VI. 3	VI. 4	VI. 5	VII. 1	VII. 2	VII. 3	VII. 4	VII. 5	VIII. 1	VIII. 2	VIII. 3	VIII. 4	VIII. 5
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																													
評価形式	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	90								a	b	c																																		
評価形式	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																													
評価形式	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																													
評価形式	5	口頭試験																																													
評価形式	6	レポート																																													
評価形式	7	成果発表																																													
評価形式	8	質問紙法																																													
評価形式	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																													
評価形式	10	OSCE																																													
評価形式	11	監査（オーディット）																																													
評価形式	12	ポートフォリオ																																													
評価形式	13	自己評価																																													
評価形式	14	その他 出席状況	10				c																																								
合計（100%）			100																																												

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
産科・婦人科学	1.5	カリキュラム・マップ	A	A	A	A	A	A	B	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
		アセスメント・マップ																																																					
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																																	
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																																					
		評価形式 2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	90	a	a	a	a	a	a	b	b	a	a	a	a	a	a	a	a	a	b	b	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	b	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a
		評価形式 3 小テスト：筆記試験（記述式）																																																					
		評価形式 4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																																					
		評価形式 5 口頭試験																																																					
		評価形式 6 レポート	10	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c
		評価形式 7 成果発表																																																					
		評価形式 8 質問紙法																																																					
		評価形式 9 直接観察法（模型または実際の患者）																																																					
		評価形式 10 OSCE																																																					
		評価形式 11 監査（オーディット）																																																					
		評価形式 12 ポートフォリオ																																																					
		評価形式 13 自己評価																																																					
		評価形式 14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																																					
		合計（100%）	100																																																				

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
形成外科学	1	カリキュラム・マップ	C	E	D	E	E	E	C	B	B	B	D	E	C	C	B	D	E	C	C	E	C	E	E	E	E	E	E	D	D	D	D	C	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																															
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																														
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																															
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	95							a	a	a			b	b	a				b																												
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	5							a																																							
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																															
		5 口頭試験																																															
		6 レポート																																															
		7 成果発表																																															
		8 質問紙法																																															
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																															
		10 OSCE																																															
		11 監査（オーディット）																																															
		12 ポートフォリオ																																															
		13 自己評価																																															
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																															
		合計（100%）	100																																														

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	I. 2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	I. 3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	I. 4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	I. 5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	I. 6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	II. 2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	II. 3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	II. 4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	II. 5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	III. 2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	III. 3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	III. 4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	III. 5 医療安全、感染症対策を実践できる。	III. 6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	IV. 2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	IV. 3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	IV. 4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	IV. 5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	V. 2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	V. 3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	V. 4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	V. 5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	VI. 2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	VI. 3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	VI. 4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	VI. 5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	VII. 2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	VII. 3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	VII. 4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	VII. 5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 地域医療の中で国際化に関する課題を説明できる。国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	VIII. 2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	VIII. 3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	VIII. 4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	VIII. 5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
救急医学・集中治療医学	1	カリキュラム・マップ	c	c	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	C	D	C	B	D	D	C	D	D	E	E	D	D	D	D	D	D	D	D	D	C	D	D	D	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																											
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式） 90	a	a												a		a	a			a														a								
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																														
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																														
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
	5	口頭試験																																														
	6	レポート 10	a	a												a		a	a			a														a												
	7	成果発表																																														
	8	質問紙法																																														
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																														
	10	OSCE																																														
	11	監査（オーディット）																																														
	12	ポートフォリオ																																														
	13	自己評価																																														
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																														
		合計（100%） 100																																														

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
耳鼻咽喉科学	1	カリキュラム・マップ	C	C	C	B	C	B	B	B	B	B	C	B	B	B	B	B	E	C	B	B	B	C	B	B	B	B	B	C	C	C	C	C	C	E	B	B	C	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																															
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																														
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）	100							a	a	a																																					
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																															
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																															
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																															
		5 口頭試験																																															
		6 レポート																																															
		7 成果発表																																															
		8 質問紙法																																															
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																															
		10 OSCE																																															
		11 監査（オーディット）																																															
		12 ポートフォリオ																																															
		13 自己評価																																															
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																															
		合計（100%）	100																																														

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
眼科学	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合（%）　②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
	1	定期試験：筆記試験（記述式）	100						a	a	a	a	a																																					
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																																
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																																
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																																
	5	口頭試験																																																
	6	レポート																																																
	7	成果発表																																																
	8	質問紙法																																																
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																																
	10	OSCE																																																
	11	監査（オーディット）																																																
	12	ポートフォリオ																																																
	13	自己評価																																																
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																																
		合計（100%）	100																																															

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced　S	初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied　A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic　B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	基盤 Basic　C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
整形外科学	1.5	カリキュラム・マップ	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	E	C	C	C	C	C	E	E	E	E	E	C	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																													
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）	95						a	a	a	a																			a	a																
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																														
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																														
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																														
		5 口頭試験																																														
		6 レポート																																														
		7 成果発表																																														
		8 質問紙法																																														
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																														
		10 OSCE																																														
		11 監査（オーディット）																																														
		12 ポートフォリオ																																														
		13 自己評価																																														
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	5 出席状況、授業態度																						a																							
		合計（100%）	100																																													

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
口腔外科学	1	カリキュラム・マップ	C	D	D	D	D	C	C	B	B	B	C	B	C	B	C	B	E	D	C	C	C	C	B	B	C	E	B	C	C	C	C	C	E	C	D	D	D	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																																
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																														
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）	90							a	a	a		b		b		c																															
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																															
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																															
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																															
		5 口頭試験																																															
		6 レポート																																															
		7 成果発表																																															
		8 質問紙法																																															
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																															
		10 OSCE																																															
		11 監査（オーディット）																																															
		12 ポートフォリオ																																															
		13 自己評価																																															
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載→出席状況、授業態度	10																						c	c			c																			
		合計（100%）	100																																														

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
臨床入門	2	カリキュラム・マップ	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	E	B	B	B	B	B	B	B	C	C	B	B	E	C	B	B	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																																	
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																															
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																																	
		評価形式 2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																																	
		評価形式 3 小テスト：筆記試験（記述式）																																																	
		評価形式 4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																																	
		評価形式 5 口頭試験																																																	
		評価形式 6 レポート																																																	
		評価形式 7 成果発表																																																	
		評価形式 8 質問紙法																																																	
		評価形式 9 直接観察法（模型または実際の患者）																																																	
		評価形式 10 OSCE 50				a		a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a		a	a	a	a	a	a	a			a																						
		評価形式 11 監査（オーディット）																																																	
		評価形式 12 ポートフォリオ																																																	
		評価形式 13 自己評価																																																	
		評価形式 14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載 50 CBT	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a			a	a	a	a	a																										
		合計（100%） 100																																																	

カリキュラム・マップ　区分			
凡例	高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C	医学生として基盤となる能力を修得している
		D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法		I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
				1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
医療安全管理学	1	カリキュラム・マップ		B	B	C	C	B	C	E	D	E	D	D	C	C	C	B	B	E	D	D	D	B	C	E	B	B	E	D	C	D	C	D	D	E	E	D	E	E	E	E	E	E	E
		アセスメント・マップ																																											
		① 評価形式ごとの評価割合（%）		②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																									
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																											
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	90	a				b										b	a					b				a																	
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	10					b											b																										
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
		5 口頭試験																																											
		6 レポ-ト																																											
		7 成果発表																																											
		8 質問紙法																																											
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																											
		10 OSCE																																											
		11 監査（オーディット）																																											
		12 ポートフォリオ																																											
		13 自己評価																																											
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																											
		合計（100%）	100																																										

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C 医学生として基盤となる能力を修得している
		D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E 経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
			医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
公衆衛生学2	2	カリキュラム・マップ	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	E	E	E	E	C	C	B	B	B	B	B	C	C	C	C	B	B	B	B	B	B	B	B	C	B	C	B	B	B	B	B	B
		アセスメント・マップ																																											
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																										
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																											
	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	100	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a					a	a	a	a	b	b	a	b	b	b	b	a	a	a	a	b	b	b	a	a	a	a	a	a	a	a	a
	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																											
	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
	5	口頭試験																																											
	6	レポート																																											
	7	成果発表																																											
	8	質問紙法																																											
	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																											
	10	OSCE																																											
	11	監査（オーディット）																																											
	12	ポートフォリオ																																											
	13	自己評価																																											
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																											
		合計（100%）	100																																										

カリキュラム・マップ　区分		
凡例 高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
凡例 応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
凡例 基盤 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
凡例 基盤 Basic	C	医学生として基盤となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム 1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	II. 医学知識 1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	III. 医療の実践 1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	IV. 問題対応能力 1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	V. コミュニケーション 1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	VI. 科学的探求 1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	VII. 地域医療 1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	VIII. 国際貢献 1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
法医学・医事法	3	カリキュラム・マップ	C	A	A	D	S	C	D	D	D	D	D	E	E	E	E	D	C	D	D	D	D	D	D	E	E	E	D	C	C	C	C	C	D	D	E	E	E	E	E	E	D	D
		アセスメント・マップ																																														
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																											
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式） 35	b	a	a		a	b	c	c	c	c	c					b	a	b	b	b	b	b						b	b	b	b	b									c	c
評価形式	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式） 35	b	a	a		a	b	c	c	c	c	c					b	a	b	b	b	b	b						b	b	b	b	b									c	c
評価形式	3	小テスト：筆記試験（記述式）																																												
評価形式	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																												
評価形式	5	口頭試験																																												
評価形式	6	レポート 20	b	a	a		a	b	c	c	c	c	c					b	a	b	b	b	b	b	a			a	b	b	a	b	a									c	c
評価形式	7	成果発表																																												
評価形式	8	質問紙法																																												
評価形式	9	直接観察法（模型または実際の患者）																																												
評価形式	10	OSCE																																												
評価形式	11	監査（オーディット）																																												
評価形式	12	ポートフォリオ																																												
評価形式	13	自己評価																																												
評価形式	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載 10 出席状況																							b	b			a																	
		合計（100%） 100																																												

カリキュラム・マップ　区分		
凡例	高度 Advanced	S　初期臨床研修修了のレベルである
	応用 Applied	A　診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
	基盤 Basic	B　医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C　医学生として基盤となる能力を修得している
		D　経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
		E　経験・修得する機会がない

札幌医科大学医学部医学科　コンピテンス・コンピテンシー

科目名	単位数	学修成果と評価方法	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
			1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
総合講義	1	カリキュラム・マップ																																											
		アセスメント・マップ																																											
		① 評価形式ごとの評価割合（%）	②評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）																																										
		評価形式 1 定期試験：筆記試験（記述式）																																											
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																											
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																											
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
		5 口頭試験																																											
		6 レポート																																											
		7 成果発表																																											
		8 質問紙法																																											
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																											
		10 OSCE																																											
		11 監査（オーディット）																																											
		12 ポートフォリオ																																											
		13 自己評価																																											
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載　100							a	a	a	a		a	a	a	a	a	a																										
		合計（100%）　100																																											